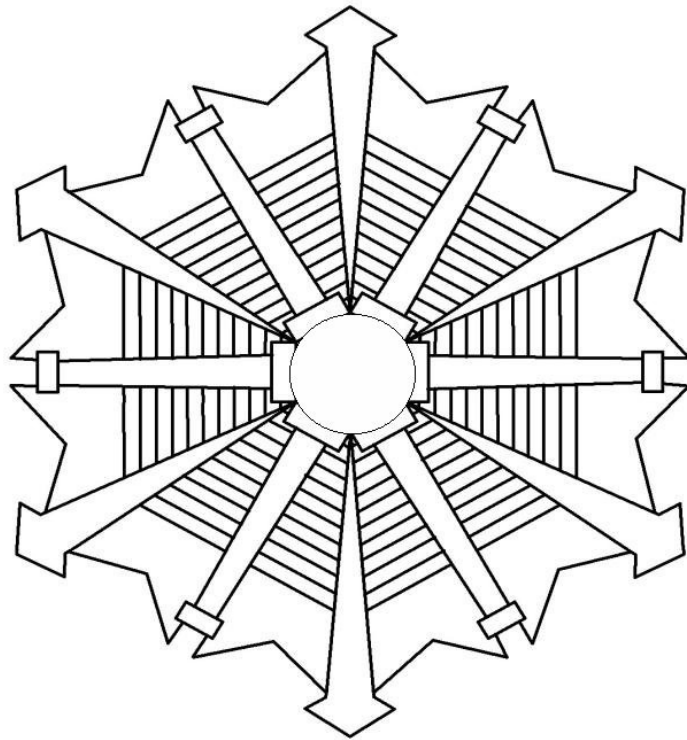


令和3年版

# 消 防 年 報



岩国地区消防組合



## ま え が き

この消防年報は、岩国地区消防組合及び構成市町（岩国市、和木町）の消防現勢及び消防業務に関する諸般の資料を収録し、将来の参考にするとともに、消防事情を広く一般に公開することを目的として編集したものです。

「地域のみなさんの安心・安全を確保する」という任務を遂行するためには、消防活動の分析及び検討が不可欠であり、この年報が今後の消防行政の効果的推進を図るうえでの一助となれば幸甚です。

なお、各資料のうち、予算関係については会計年度とし、その他の事項についてはすべて暦年といたしました。

※令和3年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、一部の行事等が中止になりました。

令和4年3月

岩国地区消防組合

管内一目統計

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	884.3km <sup>2</sup>	136,406人	154.3人/km <sup>2</sup>	68,061世帯

予算・機構・人事	消防予算	署・所	職員数	
	23億8,914万円 住民一人当たり 17,515円 (構成市町全体)	消防本部 1 消防署 1 分署 1 出張所 4 機関員駐在所 2	定員 230名	実員 230名

機械・施設	ポンプ・タンク車	特殊車両	救急車	水利
	ポンプ車 10台 タンク車 5台	はしご車 2台 化学車 2台 泡原液搬送車 1台 救助工作車 2台 多目的搬送車 1台 資機材搬送車 1台 指揮隊車 1台	高規格救急車11台	消火栓 公設 3,066基 私設 199基 防火水槽 公設 526基 私設 81基

火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	事故種別
	46件 7.9日に1件の割合で発生	①たき火 10件 ②電灯・電話等の配線 4件 ③たばこ、電気機器 3件	7,159件 1日あたり 19.6件	①急病 4,288件 59.9% ②一般負傷 1,204件 16.8% ③交通事故 409件 5.7%

予防	防火対象物	危険物施設	石油コンビナート関係	火薬取締法関係	自主防災組織等
	17条(消防法) 5,042件 8条(消防法) 1,076件	製造所 29件 貯蔵所 692件 取扱所 208件	特定事業所 5事業所	火薬庫 6件 販売所 2件 火薬庫外貯蔵所 2件 消費場所 6件	婦人消防隊 2団体 少年消防クラブ 1団体 幼年消防クラブ 11団体

# 岩国地区消防歌

作詞・生田恵子 / 補作詞・村井一郎 / 作曲・青木 進

The musical score is written in treble clef with a key signature of one flat (B-flat) and a common time signature (C). It consists of six staves of music. The lyrics are written below the notes. Dynamics include *mf* (mezzo-forte) and *f* (forte). There are also accents (>) and phrasing slurs with numbers 1, 2, and 3. The lyrics are: みどりのみねのきりはれ、てにしきのかわはながれつ、ぐわがいわくにとちょうそん、のかさいをしずめみずふせ、ぐいわくにちくしょうほうにああ、ほこらしきしめいあーりかり。

## 岩国地区消防歌

一

緑の峯の霧晴れて  
錦の川は流れつぐ  
わが岩国と 町村の  
火災を鎮め 水防ぐ  
岩国地区消防に  
あゝ誇らしき 使命あり

二

輝く瀬戸の波清く  
平和の光り 射すところ  
ゆたかな大地 踏みしめて  
今颯爽と 奮い起つ  
岩国地区消防に  
あゝいや崇き 理想あり

三

錦帯橋の名もゆかし  
文化の華の咲くところ  
日夜を問わず 人々の  
泰けき暮らし 護りぬく  
岩国地区消防に  
あゝ完璧の 備えあり

# 目 次

## I 概 要

1. 位置、地勢、特性 .....	1
2. 気象状況 .....	2
3. 消防の沿革 .....	3
4. 大火の歴史 .....	21
5. 歴代消防長 .....	26
6. 消防本部、消防署、分署、出張所、機関員駐在所の配置図 .....	27
7. 管内状況 .....	27
8. 消防相互応援協定等締結状況 .....	28
9. 令和3年中の主要行事 .....	29

## II 総 務

1. 組 織 .....	31
2. 事務分掌 .....	33
3. 予算（当初予算） .....	39
4. 職員の採用試験状況 .....	40
5. 職員の配置状況 .....	41
6. 職員の年齢構成 .....	42
7. 職員の消防学校等入校状況 .....	43
8. 職員免許資格取得状況 .....	44
9. 消防音楽隊 .....	45

## III 消防施設

1. 消防庁舎の現況 .....	47
2. 消防車両保有状況 .....	48
3. 消防車両一覧表 .....	49
4. 機械器具等保有状況 .....	51
5. 消防水利の現況 .....	53

IV	通信施設	
1.	消防通信の概況	55
2.	高機能消防指令センター構成図	56
3.	デジタル無線通信系統図	57
4.	月別119番受信状況	58
V	火災	
1.	火災概況	59
2.	管轄別・市町別・月別火災発生状況	62
3.	火災別・市町別・月別出火原因	64
4.	令和3年中の主な火災	65
5.	過去10年間の火災動態	65
6.	過去10年間の建物火災発生場所分類	66
VI	救急	
1.	救急概況	67
2.	管轄別・市町別・月別救急発生状況	68
3.	現場到着所要時間別出場件数	70
4.	病院収容所要時間別搬送人員	70
5.	応急手当普及啓発活動実施状況	71
VII	救助	
1.	救助概況	73
2.	救助出動・活動状況	74
3.	管轄別・市町別救助出動状況	75

## VIII 予 防

1. 防火対象物の現況	77
2. 中高層建築物	79
3. 防火管理者選任状況	80
4. 防火対象物査察実施状況	81
5. 用途別消防用設備等受付事務処理状況	82
6. 用途別建築確認申請同意状況	83
7. 工事種別建築確認申請同意状況	84
8. 火災予防条例等に基づく届出状況	84
9. 火薬類取締法関係処理状況	84
10. 危険物事務処理状況	85
11. 危険物施設数及び立入検査実施状況	85
12. 危険物施設事業所数	86
13. 屋外タンク貯蔵所容量別数	86
14. 危険物施設倍数別状況	87
15. 危険物取扱者試験の実施状況	88
16. 化学消火剤備蓄状況	88
17. 広報活動等の実施状況	89
18. 幼年・少年消防クラブの現況	90
19. 婦人消防隊の現況	90

## IX 消防団

1. 消防団の人員と主要装備	91
2. 消防団活動状況	92
3. 消防団員の年齢構成	93
4. 消防団員の在職年数	93
5. 消防団員年額報酬	94
6. 消防団員費用弁償	94

# I 概 要



## 1. 位置、地勢、特性

岩国地区消防組合は山口県の東端に位置し、広島・島根両県と県境を接する岩国市と玖珂郡和木町の1市1町で構成される一部事務組合である。

管内人口は約14万人、管轄面積は瀬戸内海沿岸部から中国山地の山懐までの約884km<sup>2</sup>で、山口県で2番目の広さを有している。

岩国市中心部を流れる錦川には、日本三名橋の一つである錦帯橋が架けられ、その周辺には岩国城や武家屋敷を始めとする歴史的建造物が多数残っており、令和3年10月には、錦帯橋と城下町の景観が県内で初めて国の「重要文化的景観」に選定された。

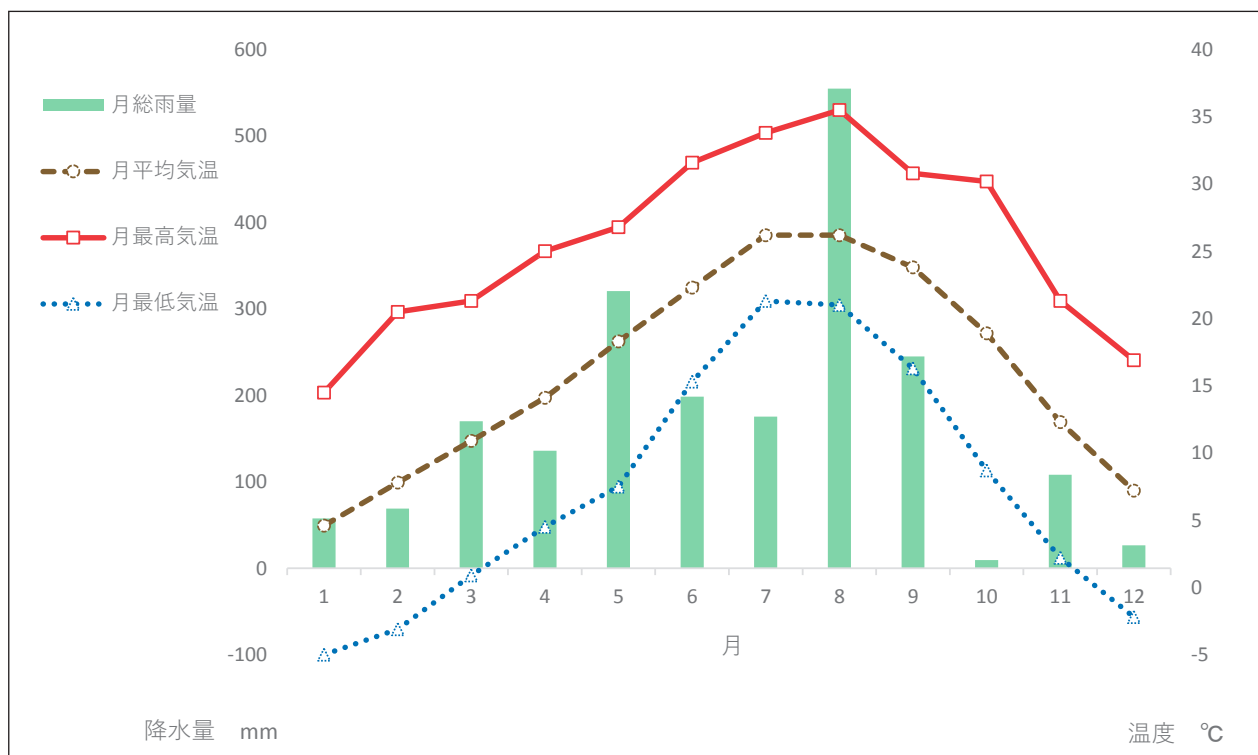
また、管内の沿岸部には広島県大竹市と連なる大規模な石油コンビナート工場群が林立、錦川下流のデルタ地帯には、アメリカ合衆国海兵隊と海上自衛隊が共用する航空基地がある。平成24年には、軍民共用空港として「岩国錦帯橋空港」が新たに開港、山口県東部の空の玄関口として多くの利用客で活況を呈している。



## 2. 気象状況

観測地点 消防本部庁舎屋上

区 分		月 別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速 m/s	月 平 均 値	2.9	3	2.5	2.5	2.6	2.1	2.3	2.3	2.1	2.7	3.1	3.2
	月瞬間最大風速	22	20.6	18.2	20.6	18.1	9.2	24	23.7	18.6	15.3	17.3	19.8
	最大風速時風向	西	西	南	西南西	西	南東	西	西	北北東	北西	南西	西
気温 ℃	月 平 均 値	4.6	7.8	10.9	14.1	18.3	22.3	26.2	26.2	23.8	18.9	12.3	7.2
	月 最 高 値	14.5	20.5	21.3	25	26.8	31.6	33.8	35.5	30.8	30.2	21.3	16.9
	月 最 低 値	-5	-3.1	0.9	4.5	7.5	15.3	21.3	21	16.3	8.7	2.2	-2.2
湿度 %	月 平 均 値	68.7	63.9	69.9	60.4	75	77.4	79.9	83	79.5	72	70.5	69.6
	月 最 高 値	97.4	96.6	97.4	97.5	97.7	97.7	97.4	97.5	97.5	97.4	97.4	97.5
	月 最 低 値	32.7	22.7	23.8	11.6	6.9	29.1	38.3	46.6	43.6	33	26.6	34.1
雨量 mm	月 総 雨 量	57.5	69	170	136	320.5	198.5	175.5	555	245	9.5	108	26.5
	1 日 間 最 高 値	27	20.5	73.5	34.5	100	46	72.5	124.5	92.5	5	50	22.5
	1 時 間 最 高 値	4.5	5.5	11.5	10	21.5	25	29.5	35.5	34.5	3.5	25.5	7
	10 分 間 最 高 値	1	1.5	3	2.5	9	6.5	16.5	9	7.5	1.5	9.5	1.5
降雨、降雪の観測日数		5	7	9	8	13	12	11	13	11	4	8	4



### 3. 消防の沿革

#### (1) 藩政時代の消防

岩国消防の歴史については、岩国の歴史とともに慶長5年（西暦1600年）関ヶ原役後、吉川広家岩国入封と同時に大きく変わって、組織だったものができたものと思われる。

正徳5年（西暦1715年）6代経永まで100年間の消防に関する史料については明らかでない。経永の代になり下記の様な史料が見られる。

享保4年（1719年）11. 17	出火時の心得箇条公布
享保14年（1729年）5. 27	椎尾下山県屋敷を召し上げ火の用心のため広小路とする。
元文5年（1740年）12. 10	大阪鴻池又左衛門より龍吐水を献ず
寛保2年（1742年）	火事仕組書公布

#### 参 考

岩国旧記 30 火事仕組 寛保2年壬戌

#### 1. 横山、錦見、川西出火の節は

御 蔵 元	昼は纏、夜は高揚挑灯
御 職 座	鳶のもの 6人用達
	用達勘定方1人小者1人付添
裏 判 方 2人	新夫 3人
	内1人 小揚燈灯持
	内1人 自分燈灯持
	内1人 手明のこと
元 〆 方 1人	挑灯持 1人
	御道具方小使 1人
勘 定 方 1人	小者新夫 1人
	夜は挑灯持 1人

#### 2. 多田、御庄、中津、室の木、今津出火の節は

御 蔵 元	昼は纏、夜は大揚挑灯新夫1人
裏 判 方 1人	内1人 小揚燈灯持
	新夫2人内1人 道具持
元 〆 方 1人	御道具田小使1人、非番より他に夜は揚挑灯持1人
勘 定 方 1人	小者1人 夜は挑灯持1人

#### 3. 向今津、門前、牛野谷、関戸、大内迫、池ヶ迫、柱野出火の節は

元 〆 方 1人	挑灯持1人勿論昼は不入浮役1人付添
----------	-------------------

山方両人	御道具小使1人非番より
(注)御蔵元	上記の通り候事 県政民政司法等を掌理した御役所すなわち行政府に属するもの。
御職座	民生財政を掌理した御蔵元の長官で行政の最高責任者、家元中老の中から選ぶ。
裏判方	職座の補佐40石～150石までの士から選ぶ2人又は3人を置く。
元メ方	郡代に当たり諸代官の上において在方の総轄である。40石～50石の士より選ぶ。
勘定役	理財会計の事をつかさどる。藩主の旅行および土木も又その管轄。頭2～3人以下数人の助役。
浮役	領内巡視役 主として土木の査察。
(2) 明治初年から市制施行までの消防	
明治4年(1871)4月	「横山、錦見、川西、万谷、千石原等出火の節防御仕組」というものが発表せられ、藩庁、乗越御門、千石原御門昌明館、治功御社、洞泉寺、学校3か所、その他の警固について規定。
明治8年(1875)8月10日	義済堂非常規則を制定。 第1章より43章に及ぶ堂中章程によれば小頭以下20人を以って応変組なる組織を編成、出動区分も第1出動区域より第3出動区分を設定。
明治12年(1879)1月	消防組条例を制定。 錦見村、岩国町の連合で消防組が県知事より許可なる。
明治18年(1885)	消防組を助けるため、岩国町に人員40名の協力社を設ける。
明治20年(1887)11月	県令132号公立消防組準則により岩国消防組(人員60名)、錦見消防組(人員50名)、横山村及び川西村に連合の横川消防組(人員60名)が編成せられる。
明治21年(1888)	今津村に消防火夫を置き消防に当たらせる。
明治22年(1889)	市町村制施行に伴い横山、川西、平田が横山村となり横川消防組は横山消防組、岩国町と錦見村が合併して岩国消防組を編成。

明治27年 (1894)	消防制度の改革。 全国的に消防制度が統一せられ、消防は警察行政の一部とすることが明示せられる。
明治29年 (1896)	麻里布町消防手55名を以って消防組を置く。
明治30年 (1897)	新港に消防組を置く。
明治32年 (1899)	今津に消防組を置く。
明治33年 (1900)	麻里布消防組を設置。 第1部新港、第2部今津の2部制とする。
明治38年 (1905)	岩国町と横山村を合併、岩国消防組を編成、2部制を敷く。第1部を岩国町役場、第2部を川西共有家屋にそれぞれ本部を置く。区域第1部大字錦見、岩国（土手町を除く）第2部横山、川西、平田大字土手町 人員総数120名。
明治44年 (1911)	岩国消防組4部制とし200名に増員。 麻里布消防組第1部に装束私設消防組、第2部に室の木、浦ヶ浜私設消防組をそれぞれ編入合併。
大正6年 (1917)	岩国消防組5部制200名とする。
大正12年 (1923)	灘村に消防組を編成。
大正14年 (1925) 8月	愛宕村に消防組を編成。人員47名。 小頭は尾津、門前、牛野谷より各1名選出。
大正14年 (1925)	川下村中津部落に消防組を置く。
大正15年 (1926)	川下村向今津部落に消防組を置く。 村内を通じ40名の消防員を養成する。
昭和3年 (1928)	岩国消防組戊申消防会発足なる。 消防組員の素質並びに消防知識の向上を図り消防事務の改善発達を期するため、消防組幹部、町会長、消防後援会長らにより組織される。
昭和5年 (1930)	灘村消防組3部制とする。
昭和7年 (1932)	岩国町消防組5部制を本部の外5部を置き、人員総計248名とする。灘村消防組を増員。
昭和8年 (1933) 12月	川下村消防組を編成。 4部制とし消防員112名に増員。

(3) 市制施行から現在までの消防

時局の進展により、消防団や在郷軍人その他によって警防団が結成されていたが、昭和14年1月警防団令が発布されて、4月1日から実施となる。

昭和15年4月1日 岩国市制施行、岩国市警防団結成、岩国7部、麻里布4部、川下4部、愛宕3部、灘3部、21部制団長以下1,025名。

昭和22年4月30日 消防団令公布。

昭和22年7月5日 岩国警防団を解消、消防団を組織、5か分団総員482名。

昭和23年8月13日 消防組織法が施行され岩国市消防本部が設置される。消防長以下職員5名。

昭和26年7月25日 岩国市消防団条例制定。

昭和26年8月1日 岩国市消防署設置。消防長以下職員13名。

昭和27年3月21日 消防署に水槽付消防ポンプ自動車（錦竜号第1号車）を配備。

昭和27年4月5日 西岩国に出張所を置く。

昭和27年9月22日 消防庁舎完成（旧庁舎）。火災専用電話「999」設置。

昭和28年7月11日 岩国市火災予防条例制定。

消防団条例の一部改正により次の編成を行う。

第1分団 岩 国 6部 131名

第2分団 麻里布 6部 145名

第3分団 川 下 4部 89名

第4分団 愛 宕 3部 68名

第5分団 灘 3部 73名

昭和28年10月 消防署西出張所に消防ポンプ自動車（朋竜号第1号車）を配備。

昭和30年4月1日 隣村7か村合併時の消防力は職員52名、消防団は本部、岩国、麻里布、川下、愛宕、灘、小瀬、藤河、御庄、北河内、南河内、師木野、通津の12分団、人員総数1,033人となる。消防機械は消防署が水槽付ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、消防団が消防ポンプ自動車12台、手挽ガソリンポンプ1台、手押ポンプ1台、可搬式動力ポンプ41台となった。

昭和30年12月19日 本署2個分隊とし、消防ポンプ自動車（飛竜号第1号車）を配備。

昭和32年7月16日 消防団に消防ポンプ自動車を配備。（大洋プロパン株から

	寄贈)
昭和32年12月13日	消防団に消防ポンプ自動車を配備。(大洋プロパン(株)から寄贈)
昭和33年3月5日	岩国市内の電話の自動化に伴い火災の通報「119番」となる。
昭和33年6月2日	西出張所に消防ポンプ自動車(天竜号第1号車)を配備。
昭和33年12月1日	装束町に東出張所を開設。
昭和34年12月28日	東出張所に消防ポンプ自動車(京竜号第1号車)を配備。
昭和35年5月25日	消防団に消防ポンプ自動車を配備。(日本損害保険協会から寄贈)
昭和36年8月5日	定員改正により消防団員数を650名と改める。
昭和36年11月1日	柱島、麻里布分団より分離、柱島分団として独立、分団数13か分団編成とする。
昭和37年1月10日	ライオンズクラブから救急自動車の寄贈を受け、本格的な救急業務を開始する。
昭和37年9月15日	消防庁舎完成(山手庁舎)
昭和38年12月4日	本署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。(錦竜号第2号車)
昭和41年1月28日	ライオンズクラブ寄贈の救急自動車の代替えとして救急自動車を購入し、配備。
昭和41年11月28日	石油コンビナート防災用として化学車を配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和41年12月15日	本署の消防ポンプ自動車を更新。(飛竜号第2号車)
昭和44年3月4日	西出張所の消防ポンプ自動車を更新。(天竜号第2号車)
昭和44年12月25日	東出張所の消防ポンプ自動車を更新。(京竜号第2号車)
昭和46年4月1日	消防現有勢力の内、人員は職員数74名、団員数650名、消防機械器具は消防署水槽付消防ポンプ自動車1台、化学消防自動車1台、消防ポンプ自動車4台、可搬式動力ポンプ1台、救急自動車1台、消防団消防ポンプ自動車9台、可搬式動力ポンプ59台、可搬式運搬車18台となる。
昭和46年12月1日	1本部、1署、2出張所、職員74名、消防団13か分団。
昭和48年3月31日	職員定数84名。
昭和48年4月1日	広域行政圏岩国地区消防組合設立。消防長事務部局の職員定数158名(実員105名)、西消防署、東出張所、南出張所、玖西出張所、玖北第1出張所、玖北第2出張所庁舎建設。屈折はしご付消防ポンプ自動車1台(旭竜号第1号車)、

	水槽付消防ポンプ自動車1台（臥竜号第1号車）、消防ポンプ自動車2台（海竜号第1号車、清竜号第1号車）、救急自動車5台、査察兼広報車3台、指揮車1台、指令車1台、小型動力ポンプ6台購入。
昭和48年11月30日	岩国地区消防組合及び消防組合を構成する市町村により岩国地区消防連絡協議会を設立。
昭和49年3月25日	玖北第2出張所に救急自動車を配備。（日本自動車工業会から寄贈）
昭和49年4月1日	岩国地区消防組合全面業務開始。 1本部、2署、5出張所、職員数152名。
昭和49年7月1日	職員数158名。
昭和49年8月24日	特殊放射砲車、県から配備を受ける。
昭和49年8月30日	中央消防署に救急自動車を配備。（日本船舶振興会から寄贈）
昭和50年3月22日	林野火災特別対策事業に基づき、西消防署に林野火災工作車を配備。
昭和50年4月1日	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。（錦竜号第3号車）
昭和50年12月6日	中央消防署に岩国消防特科隊（レンジャー隊）を編成、救助活動を開始。
昭和51年3月26日	中央消防署東出張所に化学消防ポンプ自動車を配備。（日本損害保険協会から寄贈）
昭和52年2月17日	中央消防署の消防ポンプ自動車を更新。（飛竜号第3号車）
昭和52年4月1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数160名（実員159名）。
昭和52年5月31日	中央消防署東出張所、南出張所、西消防署玖西出張所、玖北第1出張所、玖北第2出張所に査察兼広報車を配備。
昭和53年1月21日	西消防署に救急自動車を配備。（日本損害保険協会から寄贈）
昭和53年10月1日	三瀬川婦人消防隊結成。
昭和53年11月1日	岩国地区消防組合消防庁舎の完成に伴い開庁式を挙。（今津庁舎）
昭和53年11月10日	消防庁舎竣工式を挙。
昭和53年11月15日	火災時の問い合わせに答えるためテレホンサービス業務

	(24-1000) を10回線で開始した。
昭和53年11月30日	総務課に本部連絡車を配備。
昭和53年12月14日	南出張所に救急自動車を配備。(山口県生命建物共済農協連から寄贈)
昭和54年 4月 1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数180名(実員170名)。
昭和54年 4月16日	岩国地区消防音楽隊を編成。(隊員33名)
昭和54年 8月20日	救急自動車の予備車を改造し、16名乗りの人員輸送車として、消防本部へ配備。
昭和54年 8月31日	西消防署の消防ポンプ自動車を更新。(天竜号第3号車)
昭和54年11月16日	西消防署玖北第1出張所に消防ポンプ自動車(北竜号第1号車)を配備。
昭和54年11月29日	石油コンビナート防災対策用として、中央消防署に大型高所放水車(30mはしご付)、大型化学車、泡原液搬送車を配備。
昭和55年 5月20日	消防本部に資器材搬送車を配備。
昭和55年 8月 7日	牛野谷少年消防クラブ結成。
昭和55年11月19日	中央消防署、玖北第2出張所の救急自動車を更新。
昭和55年11月23日	桧余地婦人消防隊結成。
昭和55年12月26日	岩国錦水ホテル互助会から消防音楽隊制服並びに人工呼吸訓練用レコーディングレサシアン(ノルウェー製)の寄贈を受ける。
昭和56年 2月12日	玖北第1出張所に救急自動車を配備。(日本損害保険協会から寄贈)
昭和56年 3月26日	中央消防署東出張所の消防ポンプ自動車を更新。(京竜号第3号車)
昭和56年 4月 1日	職員数168名。 門前少年消防クラブ結成。 通津消防少年団結成。
昭和56年 9月17日	中央消防署東出張所の救急自動車を更新。
昭和56年11月24日	昭和26年 8月 1日岩国市消防署設置以来30周年目にあたるのを記念して、市民館大ホールにおいて「岩国地区常備消防発足30周年記念式典」を挙行、約500名が参列、消防協力者として個人6名、企業5社を表彰した。また、式典席

	上歌詞を管内住民から公募して制定した生田恵子作詞、村井一郎補作詞、青木進作曲による「岩国地区消防歌」を消防音楽隊の演奏と合唱により初披露した。
昭和56年11月27日	西消防署玖西出張所の救急自動車を更新。
昭和57年4月1日	職員数167名。
昭和57年10月25日	西消防署の指令車を更新。 人員輸送車の更新分としてマイクロバス（26人乗り）を消防救急課へ配備。
昭和57年12月2日	灘幼稚園幼児消防クラブ結成。
昭和58年3月6日	岩国市民会館において「第1回地域住民と消防の集い」開催。消防救助訓練、職員体験意見発表、消防音楽隊定期演奏 職員演芸。参観者約1,100名。
昭和58年3月26日	中央消防署南岩国分遣所庁舎竣工。
昭和58年3月29日	愛宕少年消防クラブ結成。
昭和58年5月20日	中央消防署に潜水用具2式を配備。（岩国錦ライオンズクラブから寄贈）
昭和58年7月1日	通津婦人消防隊結成。
昭和58年8月27日	柱島婦人消防隊、黒島婦人消防隊結成。
昭和58年10月20日	あさひ保育園幼年消防クラブ結成。
昭和58年12月11日	由宇町婦人消防隊結成。
昭和59年3月4日	岩国市民会館において「第2回地域住民と消防の集い」開催。参観者約700名。
昭和59年3月30日	中央消防署に救助工作車を配備。
昭和59年4月1日	職員数171名。
昭和59年6月15日	水難救助潜水隊が編成され、水難救助活動を開始。
昭和59年7月18日	西消防署の査察兼広報車を更新。
昭和59年9月20日	西消防署に電源照明車を配備。（財団法人日本消防協会から寄贈）
昭和59年10月31日	職員定年条例が制定され、昭和60年3月31日より施行。
昭和59年12月1日	広域圏内常備消防力充実整備計画に基づき、玖北第2出張所に消防ポンプ自動車（第2北竜号第1号車）を配備。
昭和59年12月5日	予防課に防火広報車を配備。（財団法人日本防火協会から寄贈）
昭和59年12月25日	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。（錦竜号第

	4号車)
昭和60年3月3日	岩国市民会館において「第3回地域住民と消防の集い」開催。参観者数約1,100名。
昭和60年4月1日	職員数171名。
昭和60年6月19日	美和町内119番玖北第2出張所に移設。
昭和60年7月11日	圧縮空気充てん設備設置、運転開始。
昭和60年10月21日	本郷村、錦町、美川町内119番玖北第1出張所に移設。
昭和60年11月3日	消防職員OBとして錦生利介氏初の1類叙勲を受賞。
昭和60年12月1日	広域圏内常備消防力充実整備計画(第2年次)に基づき、西消防署玖北第1出張所錦機関員駐在所庁舎竣工、消防ポンプ自動車(第3北竜第1号車)配備。
昭和60年12月25日	南岩国分遣所の消防ポンプ自動車を更新。(南竜号第2号車)
昭和60年12月28日	ミニはしご消防車(ミニ昇竜)職員の手で誕生。
昭和61年2月25日	西消防署に救急自動車を配備。(日本損害保険協会から寄贈)
昭和61年3月2日	岩国市民会館において「第4回地域住民と消防の集い」開催。参観者約1,000名。
昭和61年4月1日	職員数175名。
昭和61年12月1日	広域圏内常備消防力充実整備計画(第3年次)に基づき、西消防署玖西出張所玖珂機関員駐在所庁舎竣工、消防ポンプ自動車(第2清竜号第1号車)配備。
昭和61年12月25日	西消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。(臥竜号第2号車)
昭和62年1月31日	消防本部の指揮車を更新。
昭和62年3月1日	岩国市民会館において「第5回地域住民と消防の集い」開催。参観者1,350名。
昭和62年3月27日	玖珂中央幼稚園幼年消防クラブ誕生。
昭和62年4月1日	職員数177名。
昭和62年6月24日	坂上保育所幼年消防クラブ誕生。
昭和62年7月3日	美和保育所幼年消防クラブ誕生。
昭和62年11月20日	中央消防署に潜水器具を配備。(岩国錦ライオンズクラブから寄贈)
昭和62年12月1日	広域圏内常備消防力充実整備計画(最終年度)に基づき、

	西消防署玖北第2出張所本郷機関員駐在所庁舎竣工、消防ポンプ自動車（郷竜号第1号車）配備。
昭和62年12月16日	玖西出張所の消防ポンプ自動車を更新。（清竜号第2号車）
昭和63年3月6日	岩国市民会館において「第6回地域住民と消防の集い」開催。参観者1,300名。
昭和63年3月30日	中央消防署救助救出訓練塔設置。
昭和63年4月1日	職員数177名。
昭和63年10月25日	消防本部に資器材搬送車を配備。（岩国市から所管替）
昭和63年11月12日	岩国南幼稚園幼年消防クラブ結成。
昭和63年12月27日	南出張所の消防ポンプ自動車を更新。（海竜号第2号車）
平成元年1月25日	中央消防署に救急自動車を配備。（山之内製薬株式会社から寄贈）
平成元年3月5日	岩国市民会館において「第7回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,380名。
平成元年4月1日	職員数177名。
平成元年6月6日	西消防署救助救出訓練塔設置。
平成元年12月1日	阿品婦人消防隊結成。
平成2年2月23日	中央消防署に救急自動車を配備。（国際ソロプチミスト岩国から寄贈）
平成2年3月4日	岩国市民会館において「第8回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,450名。
平成2年3月26日	西消防署に救急自動車を配備。（岩国桜ライオンズクラブから寄贈）
平成2年3月28日	東出張所の化学消防ポンプ自動車を更新。（第3号車）
平成2年4月1日	職員数177名。
平成2年8月2日	中央消防署に潜水業務用資器材を配備。（岩国錦ライオンズクラブから寄贈）
平成2年12月19日	中央消防署の消防ポンプ自動車を更新。（飛竜号第4号車）
平成3年2月25日	西消防署玖北第2出張所の救急自動車を更新。
平成3年4月1日	職員数174名。
平成3年6月1日	火災救急専用ファクシミリを設置し、運用を開始。
平成3年10月24日	中央消防署の大型高所放水車を40mはしご付に更新。
平成3年12月24日	西消防署の消防ポンプ自動車を更新。（天竜号第4号車）
平成4年3月1日	岩国市民会館において「第9回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,450名。

	どい」開催。参観者約1,140名。
平成4年3月31日	西消防署玖北第1出張所に救急自動車を配備。(日本損害保険協会から寄贈)
平成4年4月1日	職員数178名。
平成4年5月22日	中央消防署の指令車を更新。中央消防署東出張所及び南出張所、西消防署玖西出張所、玖北第1出張所及び玖北第2出張所の指令兼広報車を更新。
平成4年12月10日	西消防署玖北第1出張所の消防ポンプ自動車を更新。(北竜号第2号車)
平成5年2月28日	岩国市民会館において「第10回地域のみなさんと消防のつどい」開催。消防救助訓練、消防音楽隊定期演奏、地域住民と消防職員による演芸。参観者約1,120名。
平成5年3月31日	中央消防署東出張所に救急自動車を配備。(社団法人日本自動車工業会から寄贈)
平成5年4月1日	職員数177名。
平成5年7月15日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数196名。(実員177名)
平成5年9月9日	救急高度化に伴う救急資器材(8項目)を中央消防署に配備。
平成5年10月1日	中央消防署南岩国分遣所に救急自動車を配備。(財団法人日本消防協会から寄贈)
平成6年2月24日	ミニ救急自動車が職員の手で誕生。
平成6年3月6日	岩国市民会館において「第11回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,150名。
平成6年3月23日	中央消防署東出張所の消防ポンプ自動車を更新。(京竜号第4号車)
平成6年3月31日	中央消防署に高規格救急自動車を配備。(社団法人日本損害保険協会から寄贈)
平成6年4月1日	職員数187名。
平成6年7月1日	救急高度化に伴う救急資器材(8項目)を西消防署へ配備。
平成6年12月15日	中央消防署の高規格救急自動車に高度救命処置用資器材を配備し、救急救命士による高度救急業務を開始。
平成7年1月17日	阪神淡路大震災による被災者の救急・救助のため、救急自動車1台及び職員4名を山口県災害派遣隊として神戸市へ

	派遣。
平成7年3月14日	西消防署玖西出張所に救急高度化に伴う救急資器材（8項目）を装備した救急自動車を配備。
平成7年4月1日	職員数195名。
平成7年6月16日	中央消防署に水中無線機一式を配備。（岩国錦ライオンズクラブから寄贈）
平成8年3月2日	岩国市民会館において「第12回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約800名。
平成8年3月14日	東出張所、南出張所、玖北第1出張所及び玖北第2出張所の救急自動車を高度救命処置用資器材を配備。
平成8年3月15日	中央消防署のS・K車の更新として、15m級はしご付消防ポンプ自動車を配備。 救助活動用資器材として、化学防護服4着、300k型空気呼吸器4体を、中央署、西署へ2体ずつ配備。携帯型ガス検知器1台を中央消防署へ配備。また、中央消防署救助用ゴムボートを更新。
平成8年4月1日	職員数194名。
平成8年8月8日	中央消防署に水上スクーター及びドライスーツ等を配備。（岩国錦ライオンズクラブから寄贈）
平成9年4月1日	職員数191名。 本部機構改革。広域整備対策室を廃止、消防救急課の名称を改め警防課とし、通信指令課を設置。
平成9年4月15日	緊急通信指令システムの導入に伴い管内119番受信の集中管理を実施。
平成9年10月17日	中央消防署に船外機及びドライスーツ等を配備。（岩国錦ライオンズクラブから寄贈）
平成9年10月23日	西消防署の指令車を更新。
平成9年11月19日	西消防署玖北第2出張所の消防ポンプ自動車を更新。（第2北竜第2号車）
平成10年3月1日	岩国市民会館において「第13回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約670名。
平成10年4月1日	職員数194名。
平成10年6月15日	消防本部予防課に防火相談所を開設。 「防火相談・安心ダイヤル」の名称でフリーダイヤル（0120

	-588-119) を設置。
平成10年10月6日	中央消防署に多目的搬送車を配備。
平成11年3月1日	岩国市民会館において「第14回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約680名。
平成11年3月5日	中央消防署にドライスーツ等を配備。(岩国錦ライオンズクラブから寄贈)
平成11年3月30日	中央消防署の大型化学車を更新。
平成11年3月31日	西消防署の救急自動車を更新。(財団法人日本消防協会から寄贈)
平成11年4月1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数197名(実員197名)。うち女性2名を採用。
平成11年10月18日	本部の指令車及び西署の査察兼広報車を更新。
平成12年2月21日	西消防署玖北第1出張所に高規格救急自動車を配備。
平成12年2月25日	警防課に応急手当普及推進車を配備。(岩国桜ライオンズクラブから寄贈)
平成12年3月5日	岩国市民会館において「第15回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約800名。
平成12年3月9日	中央消防署の救助工作車を更新。
平成12年3月23日	南岩国分遣所の救急自動車を更新。(国際ソロプチミスト岩国から寄贈)
平成12年4月1日	職員数197名。
平成12年12月8日	中央消防署の泡原液搬送車を更新。
平成13年2月6日	西消防署玖北第2出張所の救急自動車を更新。
平成13年3月4日	岩国市民会館において「第16回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約800名。
平成13年3月23日	山手総合訓練場安全祈願祭・使用開始式を挙行。
平成13年3月29日	中央消防署南岩国分遣所の消防ポンプ自動車を更新。(南竜号第3号車)
平成13年4月1日	職員数195名。
平成13年11月4日	南岩国ショッピングセンター駐車場において、「消防フェスタ2001」を開催。消防音楽隊演奏・幼年消防クラブ演技、地域住民参加によるゲーム及び消火訓練。参加者約400名。
平成14年1月18日	西消防署玖北第1出張所錦機関員駐在所の消防ポンプ自動車を更新。(社団法人日本損害保険協会から寄贈)

平成14年 1月22日	西消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。(臥竜号第3号)
平成14年 2月 1日	庁内LANの導入。
平成14年 3月12日	岩国中央幼稚園幼年消防クラブ結成。
平成14年 4月 1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数202名(実員196名)。
平成14年10月13日	中央消防署にドライスーツ等を配備。(岩国錦ライオンズクラブから寄贈)
平成14年10月15日	和木幼稚園幼年消防クラブ結成。
平成14年11月 3日	和木町和木中学校グラウンドにおいて、「消防フェスタ2002」を開催。参加者約400名。
平成15年 4月 1日	職員数198名。
平成15年 8月 1日	eメール119番運用開始。
平成15年10月 1日	ひろせ保育所幼年消防クラブ結成。
平成15年11月16日	錦町広瀬高等学校グラウンドにおいて、「消防フェスタ2003」を開催。参加者約500名。
平成15年12月 4日	中央消防署南出張所(海竜号3号車)及び西消防署玖西出張所(清竜号第3号車)の消防ポンプ自動車を更新。中央消防署東出張所に高規格救急自動車を配備。
平成16年 4月 1日	職員数198名。
平成16年 4月12日	西消防署玖西出張所に高規格救急自動車を配備。
平成16年 8月 1日	加入電話をダイヤルイン方式に移行。
平成16年 9月 1日	消防音楽隊に岩国市職員7名入隊。
平成16年 9月 1日	由宇保育園幼年消防クラブ結成。
平成16年11月 7日	美川小中学校共用グラウンドにおいて、「消防フェスタ2004」を開催。参加者約500名。
平成16年12月 1日	中央消防署の高規格救急自動車を更新し、中央消防署南出張所に高規格救急自動車を配備。
平成17年 2月16日	西消防署の高規格救急自動車を更新。(社団法人日本損害保険協会から寄贈)
平成17年 4月 1日	職員数199名。
平成17年11月 2日	周東幼稚園幼年消防クラブ結成。
平成17年12月19日	西消防署の消防ポンプ自動車を更新。(天竜号第5号車)
平成18年 1月20日	防火対象物管理システムの導入。

平成18年 3月 6日	中央消防署に指令車を配備。(財団法人日本消防協会から寄贈)
平成18年 3月20日	組合構成市町村の内和木町を除く岩国市・由宇町・玖珂町・本郷村・周東町・錦町・美川町・美和町の合併により新「岩国市」が誕生。1市1町の枠組みとなる。
平成18年 4月 1日	職員数198名。
平成18年 8月21日	西消防署玖西出張所・玖北第1出張所・玖北第2出張所の指令兼広報車を更新。
平成18年 9月 8日	予防課の防火広報車を更新。
平成18年10月31日	西消防署玖西出張所玖珂機関員駐在所の消防ポンプ自動車を更新。(第2清竜号第2号車)
平成19年 3月26日	西消防署玖北第2出張所に高規格救急自動車を配備。
平成19年 4月 1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数216名(実員201名)。
平成19年 7月 9日	中央消防署東出張所・南出張所の指令兼広報車を更新。
平成19年10月23日	西消防署玖北第2出張所本郷機関員駐在所の消防ポンプ自動車を更新。(郷竜号第2号車)
平成19年11月27日	中央消防署南岩国分遣所に高規格救急自動車を配備。
平成20年 4月 1日	再任用制度を開始。 職員数207名。
平成21年 2月 2日	中央消防署東出張所の消防ポンプ自動車を更新。(京竜号第5号車)
平成21年 4月 1日	職員数212名。
平成21年11月 3日	横山吉香公園において、「消防フェスタ2009」を開催。参加者約2,000名。
平成21年12月21日	西消防署玖北第1出張所の消防ポンプ自動車を更新。(北竜号第3号車)
平成22年 3月14日	消防音楽隊にドラムセット及び銅鑼一式を配備。(岩国桜ライオンズクラブから寄贈)
平成22年 4月 1日	職員数205名。
平成22年 7月15日	山陽小野田市・下関市等において発生した大雨災害の被災者救助のため、山口県内広域消防相互応援協定に基づき、現地へ水難救助潜水隊を派遣。
平成22年10月 3日	美川町小川、美川グラウンドにおいて、「消防フェスタ

	2010」を開催。参加者約300名。
平成23年1月18日	警防課の資機材搬送車を更新。
平成23年2月4日	ISO対応上下型防火衣を全職員に貸与。
平成23年2月9日	西消防署玖北第1出張所の高規格救急自動車を更新。
平成23年3月4日	西消防署に指令車を配備。(財団法人日本消防協会から寄贈)
平成23年3月7日	中央消防署東出張所の化学消防ポンプ自動車を更新。(第4号車)
平成23年3月14日	東日本大震災による被災地(石巻市)に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊、救急小隊1隊、及び後方支援小隊1隊を派遣。
平成23年4月1日	職員数206名。
平成23年10月30日	美和町黒沢グラウンドにおいて、「消防フェスタ2011」を開催。参加者約500名。
平成24年4月1日	職員数210名。
平成24年6月20日	空気呼吸器用面体を現場活動に従事する隊員全員に個人貸与。
平成24年11月18日	玖珂町、玖珂機関員駐在所前において、「消防フェスタ2012」を開催。参加者約700名。
平成25年2月21日	中央消防署の消防ポンプ自動車(飛竜号第5号車)、西消防署玖西出張所の高規格救急自動車を更新。
平成25年4月1日	職員数214名。
平成25年6月24日	「防刃ベスト」を各高規格救急自動車に配備。
平成25年6月26日	感染防止対策としてオゾン水を利用する「オゾン水生成機器」を各署所に配備。
平成25年9月9日	警防課にCPR訓練人形及びトレーニングユニットを配備。(岩国西ロータリークラブから寄贈)
平成26年2月26日	予防課に防災広報車を配備。(財団法人日本消防協会から寄贈)
平成26年3月3日	中央消防署及び東出張所の高規格救急自動車を更新。
平成26年3月8日	周東パストラルホールで「消防フェスタ2013」を開催。参加者約180名。
平成26年3月26日	玖北第一出張所錦機関員駐在所落成式
平成26年4月1日	職員数213名。

平成26年11月9日	岩国市役所前で「消防フェスタ2014」を開催。
平成27年2月23日	中央消防署の40m級はしご付消防ポンプ自動車、玖北第二出張所の消防ポンプ自動車を更新。
平成27年3月15日	中央消防署にドライスーツ4式を配備。(岩国桜ライオンズクラブから寄贈)
平成27年4月1日	職員数216名。
平成27年8月1日	警防課の応急手当推進車を更新。
平成28年2月18日	南出張所及び西消防署の高規格救急自動車を更新。
平成28年3月1日	消防本部・中央消防署・南岩国分遣所・西消防署が統合移転し、新庁舎「いわくに消防防災センター」が運用開始。組織の变革が行われ、新たに指揮隊を編成。
平成28年3月17日	中央消防署の査察兼広報車を更新。
平成28年3月25日	中央消防署に指揮隊車を配備。
平成28年4月1日	職員数214名。
平成28年4月16日	「平成28年熊本地震」の被災地に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊3隊、救急小隊2隊及び後方支援小隊1隊を派遣。
平成28年11月5日	いわくに消防防災センターで「救急フェアin2016」を開催。参加者400名。
平成29年4月1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数230名(実員214名)。
平成29年7月6日	「平成29年7月九州北部豪雨」の被災地に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊、救急小隊1隊、後方支援小隊1隊を派遣。
平成29年9月8日	玖北第2出張所の高規格救急自動車を更新。
平成29年11月12日	岩国市地方卸売市場において「消防フェスタ2017」を開催。参加者400名。
平成29年12月25日	中央消防署の15m級はしご付消防ポンプ自動車、錦機関員駐在所の消防ポンプ自動車を更新。
平成30年4月1日	職員数215名。
平成30年7月6日	「平成30年7月豪雨」の被災地に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊、後方支援小隊1隊を派遣。
平成30年8月23日	中央消防署の高規格救急自動車を更新。
平成30年11月11日	シンフォニア岩国において「消防フェスタ2018」を開催。

	参加者500名。
平成31年1月25日	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新。(臥竜号第4号車)
平成31年2月26日	中央消防署の救助工作車、南出張所の消防ポンプ自動車を更新。
平成31年4月1日	職員数230名。
令和元年8月30日	玖西出張所の高規格救急自動車を更新。
令和元年10月18日	たかもり本陣保育園幼年消防クラブ結成。
令和元年10月26日	みなとオアシスゆうにおいて「消防フェスタ2019」を開催。参加者1,150名。
令和元年12月16日	消防本部に演台一式を配備。(岩国桜ライオンズクラブから寄贈)
令和2年4月1日	職員数232名。
令和2年4月15日	玖西出張所・玖珂機関員駐在所が統合移転し、新庁舎「西分署」が運用開始。統合移転に伴い、職員の増員、高規格救急自動車の増車、救助工作車(Ⅱ型)及び水槽付消防ポンプ自動車を新たに配備。
令和2年7月6日	「令和2年7月豪雨」の被災地に、山口県緊急消防援助隊として、消火小隊1隊、救急小隊1隊、後方支援隊1隊を派遣。
令和2年10月31日	川西保育園幼年消防クラブ結成。
令和2年11月7日	シンフォニア岩国において「消防フェスタ2020」、「避難訓練コンサート」を同時開催。参加者150名。
令和3年3月1日	「FAC4092岩国飛行場への限定的かつ人道的立入りに係る現地協定」を米海兵隊岩国航空基地との間で締結。
令和3年3月19日	中央消防署の大型化学消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、人員搬送車を更新。
令和3年4月1日	職員数231名。
令和3年6月15日	新型コロナウイルス感染症対策として「車両除染システム」を各高規格救急自動車に配備。
令和3年10月2日	シンフォニア岩国において「消防フェスタ2021」を開催。参加者230名。
令和3年10月27日	玖北第1出張所の高規格救急自動車を更新。

## 4. 大火の歴史

### 岩 国 市

#### (1) 広家岩国移封後の大火

年 号	西 暦	月 日	藩 主	場 所 及 び 程 度
承応 元年	1652	8. 6	2代広正	川西の大火
〃 3年	1654	12. 19	〃	錦見の大火229軒焼失、町家の残るもの30軒余り
寛文 8年	1668	12. 24	3代広嘉	錦見鉄砲小路火災42軒焼失
延宝 3年	1675	1. 29	〃	今津船頭町火災42軒焼失
貞亨 3年	1686	11. 14	4代広紀	錦見鉄砲小路長久路小路96軒焼失
〃 4年	1687	12. 24	〃	柱野大火40軒焼失
元禄 3年	1690	1. 24	〃	通津浦火事
〃 4年	1691	11. 26	〃	多田村35軒焼失
〃 9年	1696	2. 24	〃	千石原火事多田共に50軒焼失
〃 16年	1703	6. 4	5代広達	今津大火119軒焼失
宝永 2年	1705	8. 16	〃	川西の火事84軒焼失
〃 3年	1706	8. 26	〃	和木村火事30軒焼失
〃 6年	1709	8. 14	〃	今津新小路16軒焼失
〃 7年	1710	9. 27	〃	今津川口火事75軒焼失
正徳 元年	1711	12. 10	〃	錦見鉄砲小路より出火散島延焼135軒焼失
〃 2年	1712		〃	今津川口番所焼失
享保 元年	1716	5. 15	6代経永	今津火災15軒焼失
〃 〃	〃	6. 2	〃	多田八幡焼失
〃 2年	1717	12. 27	〃	川西沖原火災12軒焼失
〃 〃	〃		〃	旧玖珂町本郷市（現在の本町）ことごとく焼失、代官所、明覚寺類焼
〃 3年	1718	12. 3	〃	川西火災33軒焼失
〃 5年	1720	4. 5	〃	寺谷了岳院焼失、この頃洞泉寺附近よりたびたび出火
〃 10年	1725	7. 5	〃	錦見火事家中屋敷90軒、豆腐町、魚町、町家60軒、西福寺、長久寺、本能寺焼失
〃 12年	1727	9. 27	〃	錦見椎尾宮下より出火
〃 17年	1732	2. 5	〃	川西の火事、家中38軒、町方65軒、地方30軒焼失
〃 〃	〃	10. 7	〃	関戸火事40軒焼失
〃 〃	〃	11. 9	〃	川西火事、家中22軒、町方30軒、地方15軒焼失
〃 〃	〃	12. 18	〃	今津火事、茶屋、川口役所、家中24軒、町方60軒、地方11軒焼失
〃 18年	1733	2. 23	〃	御庄市火事23軒焼失
〃 〃	〃		〃	中津火事小家56軒焼失

年号	西暦	月日	藩主	場所及び程度
享保 19年	1734	11. 28	6代経永	錦見鉄砲小路火災10軒焼失
天文 2年	1737	10. 8	〃	錦見散島火災12軒焼失
寛保 2年	1742	4. 15	〃	多田村火事28軒、通津村火事10軒焼失
〃 3年	1743	3. 5	〃	門前光福寺火災、民家2軒類焼
〃 〃	〃	4.	〃	人家50戸焼失（旧玖珂町）
〃 〃	〃	4. 15	〃	多田火事諏訪神社外25軒焼失
延享 元年	1744	11. 19	〃	向今津火災19軒焼失
寛延 元年	1748	8. 22	〃	牛野谷愛宕社焼失
〃 2年	1749	2. 1	〃	関戸市62軒焼失
〃 3年	1750	10. 6	〃	錦見龍小路火事称念寺8軒焼失
宝歴 5年	1755	11. 12	〃	横山6軒焼失
〃 11年	1761	2. 1	〃	関戸火事53軒焼失
〃 13年	1763	11. 28	〃	向今津10数軒焼失
明和 3年	1766	12. 2	7代経倫	川西の火事、家中5軒、町方18軒、地方32軒焼失
〃 5年	1768	3. 27	〃	紙蔵算用所火事
〃 〃	〃	10. 6	〃	錦見山北の松屋寺焼失
〃 6年	1769	12. 24	〃	川西火事家中3軒焼失
〃 7年	1770	3. 8	〃	御庄村火事52軒焼失
安永 2年	1773	3. 19	〃	川西火事、白岑院、観音院、現養院、蔵長屋など39戸焼失
〃 8年	1779	4. 6	〃	関戸73軒焼失
〃 9年	1780	1. 6	〃	川西の火事22軒焼失
〃 〃	〃	8. 19	〃	錦見火事、金正院及家中12軒、柳井町、米屋町27軒焼失
天明 4年	1784	3. 9	〃	錦見火事、国清類焼数軒、この頃放火頻々
寛政 2年	1790	3. 7	〃	青木三軒屋火事
〃 3年	1791	12. 28	〃	錦見新小路火事12軒焼失
〃 12年	1800	10. 28	8代経忠	川西姉ヶ山火事10軒焼失
享和 2年	1802	4. 4	〃	錦見新道4軒焼失
文化 2年	1805	10. 24	9代経賢	今津大応寺焼失
〃 3年	1806	6. 21	〃	中津火事16軒焼失
〃 6年	1807	12. 19	〃	錦見ねんねこ谷の松屋寺焼失、尾津火事5軒焼失
〃 7年	1810	12. 26	10代経礼	錦見橋本町4軒焼失
〃 8年	1811	3. 27	〃	尾津村5軒焼失
〃 14年	1817	1. 14	〃	川下の瘡瘡柱付近火事4軒焼失
〃 〃	〃	12. 18	〃	東村火事48軒焼失、牛屋15軒焼失
文政 2年	1819	8. 30	〃	港火事5軒焼失

年 号	西 曆	月 日	藩 主	場 所 及 び 程 度
文政 3年	1820	10. 28	10代経礼	浦ヶ浜100余軒焼失
〃 9年	1826	11. 19	〃	車村火事20余軒焼失
〃 〃	〃	11. 26	〃	通津の浦火事50余軒焼失
〃 10年	1827	10. 6	〃	錦見小道火事12軒焼失
天保 7年	1836	2. 20	〃	蔵元屋火事作事同屋敷類焼
寛永 4年	1851	10. 25	12代経幹	木向頭辺火事36軒焼失
〃 5年	1852	9. 30	〃	河原40数軒焼失
安政 2年	1855	3. 25	〃	黒磯火事20軒焼失
文久 2年	1862	7. 16	〃	中津村堀川より出火200余軒焼失
〃 3年	1863	12. 29	〃	浦ヶ浜火事120軒焼失
慶応 2年	1866	1. 28	〃	養老館焼失
明治 元年	1868	4.	13代経健	向今津火事、清誓寺焼失
〃 2年	1869		〃	岩国登富町火事正覚寺焼失

## (2) 明治廃藩置県以後の大火

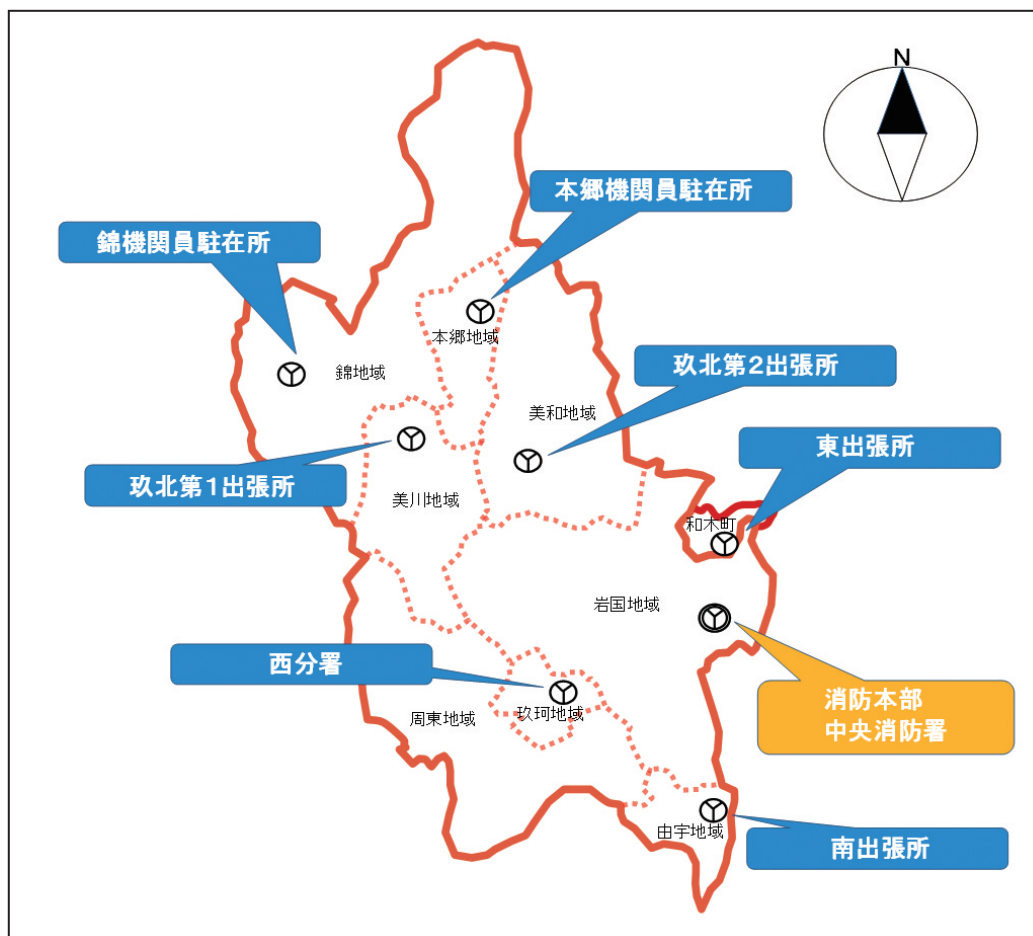
年 号	西 曆	月 日	場 所 及 び 程 度
明 治 23年	1890	10. 26	横山白山神社の大火
〃 32年	1899	3. 24	追原部落61戸全焼、死者3名（旧本郷村）
大 正 12年	1923	1. 6	銀座劇場焼失
〃 13年	1924	7. 19	義済堂火災
昭 和 2年	1927	2. 2	浦ヶ浜大火110戸焼失
〃 9年	1934	4. 15	柱島大火36戸焼失
〃 15年	1940	1. 14	欽明路で山林4町歩、欽明寺及び民家5戸を焼失（旧玖珂町）
〃 〃	〃	12.	高森警察署全焼（旧周東町）
〃 20年	1945	5. 10	陸軍燃料廠、興亜石油被爆
〃 〃	〃	7. 27	尾津11空廠被爆
〃 〃	〃	8. 9	海軍航空隊被爆
〃 〃	〃	8. 14	岩国駅付近一帯被爆全焼343戸、負傷859人、死者517人、行方不明130人
〃 22年	1947	7. 13	岩国駅全焼
〃 〃	〃		阿山下で4軒焼失（旧玖珂町）
〃 25年	1950	3. 6	岩国セントラル名画劇場全焼
〃 26年	1951	12.	高森小学校全焼（旧周東町）
〃 27年	1952	2. 18	藤生字青木火災10戸全焼
〃 28年	1953	3. 25	藤生黒磯火災9戸全焼
〃 〃	〃	7.	中山山林火災（旧周東町）
〃 31年	1956	2. 20	坂上駄床7戸全焼（旧美和町）
〃 43年	1968	4. 5	小瀬地区山林火災109ヘクタール焼失
〃 〃	〃	〃	旧由宇町南西側一円の林野火災256ヘクタール焼失
〃 44年	1969	3. 23	宇佐郷向峠山林火災160ヘクタール焼失（旧錦町）
〃 45年	1970	3. 31	岩国山周辺山林延焼火災196ヘクタール焼失
〃 46年	1971	1. 2	坂上東谷、国鉄車庫全焼（旧美和町）
〃 47年	1972	10. 4	坂上渋前2戸全焼（旧美和町）
〃 49年	1974	1. 29	賀見畑、生見3戸全焼（旧美和町）
〃 52年	1977	5. 13	岩国病院火災、死者7人、負傷者5人
〃 58年	1983	4. 26	海上自衛隊機（PS-1）墜落火災、死者10人、負傷者4人
〃 59年	1984	3. 5	三井石油化学工業(株)岩国大竹工場ハイドロキノン製造装置爆発火災
〃 63年	1988	12. 6	旧玖珂町 山賊（公卿七厘）1棟全焼
平 成 2年	1990	2. 9	川下町建物火災1棟全焼、2棟部分焼、死者（子供）3名
〃 11年	1999	7. 11	旧錦町広瀬建物火災 全焼6棟、部分焼4棟
〃 13年	2001	4. 13	旧玖珂町谷津地区林野火災13ヘクタール焼損
〃 15年	2003	4. 25	旧錦町広瀬（松本食堂）建物火災 全焼2棟、半焼1棟、部分焼2棟 死者2名、負傷者2名

年 号	西 曆	月 日	場 所 及 び 程 度
平 成 24年	2012	4. 22	三井化学株式会社岩国大竹工場レゾルシン製造プラント爆発火災 死者1名
〃 25年	2013	4. 10	玖珂町山賊（桃李庵別館）建物火災 2棟全焼、1棟部分焼 山林2.89ヘクタール焼損
〃 〃	〃	4. 21	周東町祖生建物火災 2棟全焼、2棟半焼 死者1名、負傷者2名
〃 〃	〃	11. 7	麻里布町高層建物火災 死者1名
〃 26年	2014	6. 14	車町建物火災 1棟部分焼、死者1名
〃 〃	〃	7. 8	岩国建物火災 1棟全焼、1棟部分焼、1棟ぼや、死者1名
〃 27年	2015	5. 5	山陽自動車道下り欽明路トンネル内車両火災 大型貨物自動車2台焼損
〃 29年	2017	1. 17	玖珂郡和木町建物火災 1棟全焼、1棟部分焼、1棟ぼや 死者1名
〃 〃	〃	2. 2	周東町建物火災 1棟部分焼 死者1名
〃 〃	〃	2. 3	門前町建物火災 3棟全焼、1棟部分焼、3棟ぼや 死者1名
〃 〃	〃	11. 25	周東町建物火災 1棟部分焼 死者1名
〃 30年	2018	3. 17	美川町その他火災 死者1名
〃 〃	〃	4. 27	藤生町建物火災 1棟ぼや 死者1名
〃 31年	2019	2. 9	平田建物火災 2棟全焼、1棟部分焼 死者1名
令和 元年	2019	11. 25	立石町建物火災 1棟半焼、4棟ぼや 死者1名
〃 2年	2020	1. 3	牛野谷町建物火災 1棟部分焼 死者1名
〃 〃	〃	9. 26	玖珂郡和木町建物火災 1棟部分焼 死者1名、負傷者1名
〃 〃	〃	11. 2	立石町建物火災 1棟全焼、1棟ぼや 死者1名
〃 3年	2021	10. 30	長野建物火災 1棟半焼、死者1名

## 5. 歴代消防長

代	氏名	在任期間	備考
初代	木村 智	昭和23年9月～昭和27年3月	市長事務取扱 助役事務取扱
2代	久能 寅夫	昭和27年3月～昭和29年3月	
3代	沖村 義男	昭和29年4月～昭和30年4月	
		昭和30年5月～昭和32年8月	
4代	錦生 利介	昭和32年9月～昭和47年8月	
5代	竹林 佑二	昭和47年9月～昭和48年3月	
組合初代	竹林 佑二	昭和48年4月～昭和49年9月	
2代	土井 英雄	昭和49年10月～昭和50年5月	
3代	歓喜 治朗	昭和50年5月～昭和53年10月	
4代	片桐 均	昭和53年10月～昭和55年3月	
5代	上村 年美	昭和55年4月～昭和59年3月	
6代	山本 久雄	昭和59年4月～昭和62年3月	
7代	村井 一生	昭和62年4月～平成元年3月	
8代	村岡 昌	平成元年4月～平成3年3月	
9代	石崎 統将	平成3年4月～平成7年3月	
10代	河村 偉真雄	平成7年4月～平成10年3月	
11代	佐郷 學	平成10年4月～平成12年3月	
12代	松永 正義	平成12年4月～平成13年3月	
13代	河重 兼生	平成13年4月～平成14年3月	
14代	中村 政勝	平成14年4月～平成16年3月	
15代	好本 光雄	平成16年4月～平成18年3月	
16代	越智 拓郎	平成18年4月～平成21年3月	
17代	野上 悦生	平成21年4月～平成23年3月	
18代	柏本 秀則	平成23年4月～平成24年3月	
19代	藤本 博己	平成24年4月～平成26年3月	
20代	國清 宏	平成26年4月～平成30年3月	
21代	村中 和博	平成30年4月～令和2年3月	
22代	富岡 英文	令和2年4月～現在に至る	

## 6. 消防本部、消防署、分署、出張所、機関員駐在所の配置図



## 7. 管内状況

区分	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯数 (世帯)
岩国市	873.72	130,329	65,376
和木町	10.58	6,077	2,685
計	884.3	136,406	68,061

区分	令和2年度地方財政状況調査表による						
	一般会計 歳入決算額 (千円)	一般会計 歳出決算額 A (千円)	消防費 決算額 B (千円)	B / A (%)	財政力指数	基準財政 需要額 (千円)	左の内消防費 基準財政需要額 (千円)
岩国市	89,683,401	87,766,572	2,570,331	2.9	0.6	29,320,896	1,906,696
和木町	4,830,459	4,651,580	200,327	4.3	0.7	1,887,636	227,054

## 8. 消防相互応援協定等締結状況

協定名	協定先	締結年月日
山陽自動車道消防相互応援に関する協定書	・大竹市	昭和 63 年 3 月 29 日
消防相互応援に関する協定書	・廿日市市	平成 19 年 12 月 1 日
	・大竹市 ・和木町 ・岩国市	平成 20 年 2 月 12 日
岩国海上保安署と岩国地区消防組合 における消防相互応援協定 救急救助業務等に関する覚書	・岩国海上保安署	平成 10 年 4 月 9 日
岩国市及び岩国地区消防組合とアメリカ合衆国海兵隊岩国航空基地との間の消防相互応援協定	・岩国市 ・アメリカ合衆国海兵隊 岩国航空基地	平成 14 年 3 月 28 日
石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定	・下松市 ・周南市 ・宇部・山陽小野田消防局 ・下関市	平成 24 年 4 月 1 日
「母体・新生児搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	・下関市 ・山口市 ・宇部・山陽小野田消防局 ・柳井地区広域消防組合 ほか 8 機関	平成 24 年 4 月 1 日
山口県消防防災ヘリコプター応援協定	・山口県知事 ・県下各市町 ・県下各消防本部	平成 24 年 4 月 1 日
中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定書	・光市 ・光地区消防組合 ・周南市 ・岩国市ほか 9 機関	平成 24 年 4 月 1 日
山口県内広域消防相互応援協定書	・県下各市町 ・県下各消防本部	平成 24 年 4 月 1 日
中国自動車道における消防相互応援協定	・益田広域消防本部 ・広島市 ・周南市	平成 19 年 3 月 29 日
岩国空港における航空機事故に対する消火救難活動に関する協定	・岩国地区消防組合 ・大阪航空局	平成 24 年 6 月 20 日
エボラ出血熱患者の移送に関する協定書	・山口県岩国環境保健所	平成 27 年 6 月 22 日
広島市及び岩国地区消防組合消防相互応援協定	・広島市	平成 29 年 8 月 28 日
災害時におけるドローンを使用した支援活動に関する協定書	・山口県産業ドローン協会	令和 2 年 4 月 1 日
FAC4092岩国飛行場への限定的かつ人道的立入りに係る現地協定	・米海兵隊岩国航空基地	令和 3 年 3 月 1 日

※ 締結年月日は、最新の年月日を記載

## 9. 令和3年中の主要行事

月 日	行 事	月 日	行 事
1.10	岩国市消防出初式（中止） 和木町消防出初式（中止）	4.16	事務改善研究会
1.15	公平委員会	4.23	岩国地区防災協会役員会 米海兵隊岩国航空基地合同訓練（アタゴヒルズ）
1.23	岩国中央幼稚園幼年消防クラブ第19回引継ぎ式	4.27	令和3年度全国消防長会中国支部総会（広島市）
1.26	文化財防火デーに伴う消防訓練	4.28	令和3年度全国消防長会中国支部意見発表会（広島市） 全国消防長会中国支部 消防防災シンポジウム（広島市）
1.28	防火管理新規講習（～29日）	4.30	岩国地区消防連絡協議会定例会
1.29	令和2年度山口県石油コンビナート等防災本部幹事会（書面会議）	5.7	叙勲伝達式（山口市）
2.5	予防・危険物担当課長会議（山口市） 令和2年度地区協会事務局長会議（山口市） 山岳救助訓練（美和町）	5.11	令和3年度第1回通常理事会（山口市） 水難救助潜水隊・山口県消防防災ヘリ合同訓練（潮風公園みなとオアシスゆう）
2.12	岩国地区消防組合議会定例会	5.21	岩国地区消防組合議会臨時会
2.19	事務改善研究会	5.23	山口県総合防災訓練（宇部市、美祢市、山陽小野田市）
2.24	山口県消防長会議（山口市） 高層建物火災想定ブライント訓練（～26日）	5.24	臨時消防長会議（書面会議） 第1回昇任試験委員会（書面会議）
3.1	春季全国火災予防運動（～7日） 現地協定締結式（FAC4092岩国飛行場への限定的かつ人道的立入りに係る現地協定）	5.28	第73回全国消防長会総会（書面会議） 令和3年度第1回臨時理事会（山口市）
3.3	消防協力者表彰式 総合防災訓練（三井化学㈱）	6.6	危険物安全週間（～12日）
3.4	防火管理新規講習（～5日）	6.20	危険物取扱者試験（前期）
3.14	令和2年度水火災防ぎょ訓練	6.23	第48回山口県消防救助技術大会（山口市）
3.16	山口県消防表彰式	6.24	防火管理新規講習（～25日）
3.19	車両配備式 （中央消防署 大型化学消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、人員搬送車）	7.7	公平委員会 警防・通信指令担当課長会議（宇部市）
3.22	令和2年度消防功労者表彰伝達式	7.18	消防救助技術訓練成果披露会
3.24	甲種防火管理再講習	7.21	人事庶務担当課長会議（書面会議）
4.1	辞令交付式	8.4	岩国地区化学消火剤共同備蓄会会議
4.7	公平委員会	8.18	中国地区消防救助技術指導会（広島市）（中止）
4.9	令和3年度山口県消防長会春季定例会議 令和3年度山口県消防職員意見発表会 第70期消防職員初任総合教育入校式	8.22	岩国地区消防操法大会（中止）
		9.1	「防災の日」パレード

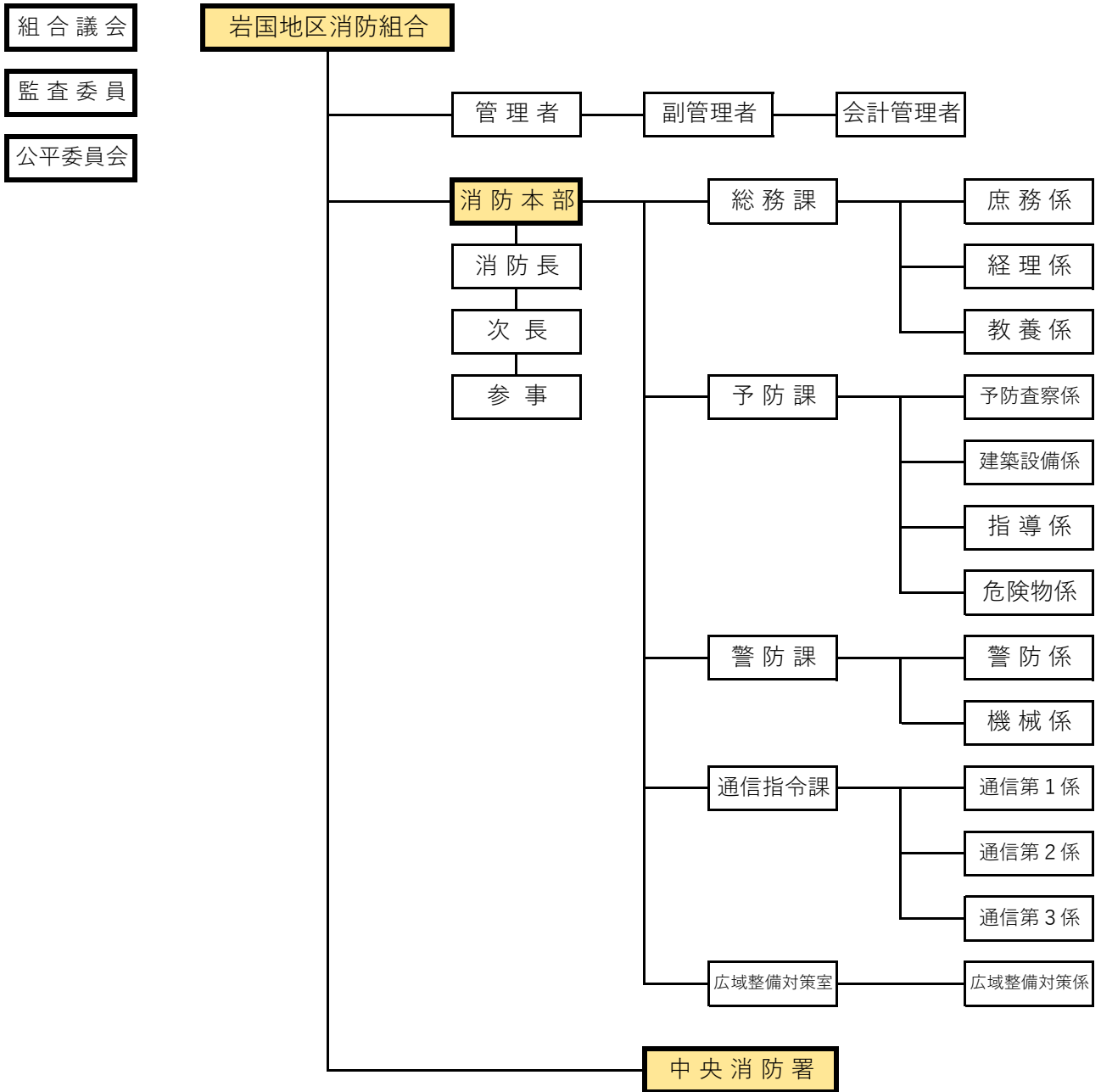
月 日	行 事	月 日	行 事
9.2	令和3年度安全功労者総務大臣表彰伝達式	11.15	岩国地区防災協会役員会
9.9	一日救急隊員委嘱(中止) 山口県消防防災ヘリ合同訓練(錦町)	11.17	全国消防長会中国支部・危険物主管課長会議 (書面会議) 第70期消防職員初任総合教育卒業式
9.14	消防職員委員会	11.20	危険物取扱者試験(後期)
9.16	塵芥収集車災害対応研修	11.22	濃煙熱気訓練(山口市)(24日、26日)
9.18	令和3年度山口県消防操法大会(山口市)(中止)	11.24	第2回昇任試験委員会
9.19	消防職員採用試験(一次)	11.26	叙勲伝達式(山口市)
9.21	予防・危険物担当課長会議(防府市)	12.2	六機関合同女性職員意見交換会
9.30	防火管理新規講習(~10月1日)	12.6	上級救命講習
10.1	全国消防長会中国支部人事庶務主管課長会議 (書面会議)	12.9	総合防災訓練(日本製紙㈱)
10.2	消防フェスタ2021・避難訓練コンサート (シンフォニア岩国)	12.10	総合防災訓練(ユニオン石油工業㈱)
10.8	公平委員会	12.16	岩国地区消防連絡協議会定例会
10.12	岩国地区消防組合協議会定例会 令和3年度第1回教育担当課長会議(山口市)	12.22	令和3年度救急救命技術発表会(~24日)
10.15	山口県消防殉職者慰霊祭(山口市) 山口県消防長会秋季定例会議(柳井市)		
10.20	令和3年度山口県消防吏員昇任試験(岩国市) 総合防災訓練(東洋紡㈱)		
10.21	定期監査		
10.22	全国消防長会中国支部警防主管課長会議(鳥取市)		
10.26	総合防災訓練(ENEOS㈱麻里布製油所)		
10.27	第70回危険物委員会(書面会議) 車両配備式(玖北第1出張所 高規格救急自動車)		
10.28	全国消防長会中国支部消防長研修会(周南市)		
11.6	緊急消防援助隊中国四国ブロック合同訓練 (~7日)(広島県備北地区)		
11.9	秋季全国火災予防運動(~15日)		
11.10	一日消防長委嘱		
11.11	消防職員採用試験(二次)		
11.13	新入消防団員教養訓練		

# Ⅱ 総 務

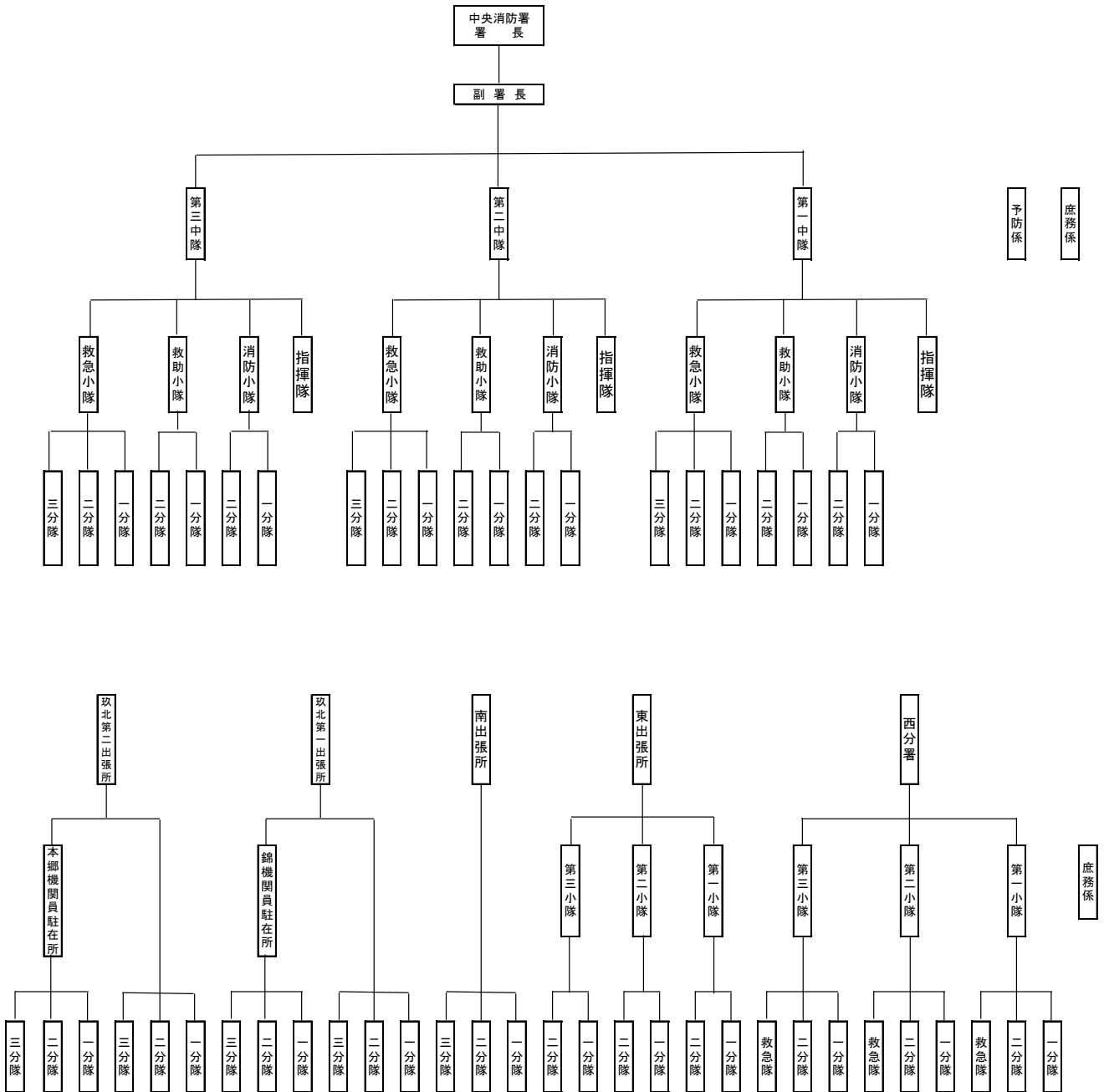


# 1. 組 織

## (1) 岩国地区消防組合の組織



(2) 消防署の組織



## 2. 事務分掌

### 消 防 本 部

#### 総 務 課

##### 庶 務 係

- (1) 公告式に関する事。
- (2) 組合議会に関する事。
- (3) 監査委員事務に関する事。
- (4) 公平委員会に関する事。
- (5) 公印に関する事。
- (6) 条例、規則及び訓令に関する事。
- (7) 文書の受発及び保存に関する事。
- (8) 各課、室及び署起案文の審査に関する事。
- (9) 組織及び機構に関する事。
- (10) 職員の人事に関する事。
- (11) 職員採用試験委員会に関する事。
- (12) 職員の階級、任免及び人事評価に関する事。
- (13) 事務引継に関する事。
- (14) 職員の分限、懲戒及び服務に関する事。
- (15) 儀式及び交際に関する事。
- (16) 職員表彰及び消防協力者表彰並びに職員表彰委員会及び表彰審査委員会等に関する事。
- (17) 消防事務の改善に関する事。
- (18) 消防本部、署及び関係団体の連絡調整に関する事。
- (19) 市町村職員共済組合に関する事。
- (20) 職員の公務災害に関する事。
- (21) 職員の福利及び厚生に関する事。
- (22) 職員の健康管理及び衛生管理に関する事。
- (23) 消防職員委員会に関する事。
- (24) 消防音楽隊の派遣に関する事。
- (25) 消防行政についての広報に関する事。
- (26) 庁舎の管理及び構内の取締りに関する事。
- (27) 消防長会及び消防協会に関する事。
- (28) 総合計画の策定に関する事。
- (29) 岩国地区消防連絡協議会に関する事。
- (30) 他の課に属さないこと及びその他課主管の庶務に関する事。

#### 経 理 係

- (1) 予算編成及び執行の調整に関すること。
- (2) 決算に関すること。
- (3) 職員の給与に関すること。
- (4) 諸収入及び支出に関すること。
- (5) 物品の購入及び出納保管に関すること。
- (6) 財産及び備品の取得、管理及び処分の手続等に関すること。
- (7) 事務用機器の維持整備に関すること。
- (8) 職員の給貸与品に関すること。
- (9) 公務旅行及び旅費に関すること。
- (10) 源泉徴収及び特別徴収に関すること。
- (11) 財務の公表に関すること。
- (12) 補助金及び組合債に関すること。
- (13) 公有財産及び自動車等の保険に関すること。
- (14) 寄贈要望及び寄附採納に関すること。
- (15) 行政財産の目的外使用許可に関すること。

#### 教 養 係

- (1) 職員の研修及び教養に関すること。
- (2) 職員の服務規律に関すること。
- (3) 消防学校、消防大学校及び救急救命研修所等の入校・入所に関すること。
- (4) 職場環境の改善に関すること。

#### 予 防 課

##### 予 防 査 察 係 ・ 建 築 設 備 係

- (1) 火災予防のための査察及び指導に関すること。
- (2) 消防用設備等の審査及び検証に関すること。
- (3) 防火管理者及び防災管理者等の講習に関すること。
- (4) 建築物の同意事務に関すること。
- (5) 建築物の検査に関すること。
- (6) 防火対象物管理システムの管理運用に関すること。
- (7) 液化石油ガス設備工事届及び検査に関すること。
- (8) 防火対象物等の統計事務に関すること。
- (9) その他課主管の庶務に関すること。

#### 指 導 係

- (1) 火災予防思想の普及及び宣伝に関する事。
- (2) 災害予防対策及び防火指導に関する事。
- (3) 岩国地区防火委員会に関する事。
- (4) 岩国地区防災協会に関する事。
- (5) 化学消火薬剤の共同備蓄に関する事。
- (6) 危険物取扱者及び消防設備士等の試験及び講習に関する事。
- (7) 防火相談に関する事。

#### 危 険 物 係

- (1) 危険物関係施設の許認可事務に関する事。
- (2) 危険物関係施設の検査、指導並びに違反処理に関する事。
- (3) 危険物関係施設に係る災害の事故処理及び事例研究に関する事。
- (4) 危険物等の統計事務に関する事。
- (5) 危険物台帳の整備保管並びに危険物管理システムの管理運用に関する事。
- (6) 少量危険物（ミニローリー）の届出及び検査に関する事。
- (7) 石炭法に基づく新設等の届出及び検査に関する事。
- (8) 石油コンビナート等特定事業所の検査、指導並びに違反処理に関する事。
- (9) 石油コンビナート等特定事業所の災害の事故処理に関する事。
- (10) 特定事業所台帳の整備保管に関する事。
- (11) 火薬類の許認可事務に関する事。
- (12) 火薬庫等の保安検査に関する事。
- (13) 火薬類製造業者等の施設の立入検査及び違反処理に関する事。

#### 警 防 課

#### 警 防 係

- (1) 火災、救急及び救助対策に関する事。
- (2) 地水利に関する事。
- (3) 警防計画に関する事。
- (4) 非常招集に関する事。
- (5) 消防訓練及び各種演習に関する事。
- (6) 自衛消防隊に関する事。
- (7) 科学消防の研究に関する事。
- (8) 火災の調査技術の研究に関する事。
- (9) 水火災原因及び損害調査に関する事。

- (10) 医療機関等との連絡調整に関する事。
- (11) 消防統計に関する事。
- (12) 火災及び救急・救助業務の報告に関する事。
- (13) 開発行為に伴う消防同意事務に関する事。
- (14) 応急手当普及啓発活動に伴う講習及び資格認定に関する事。
- (15) 安全管理に関する事。
- (16) 応援協定に関する事。
- (17) 地域防災計画及び石油コンビナート防災計画等に関する事。
- (18) その他課主管の庶務に関する事。

機 械 係

- (1) 消防施設の強化拡充及び保全に関する事。
- (2) 消防機械器具の整備、保全並びに補充に関する事。
- (3) 消防自動車運転その他技能向上に関する事。
- (4) 消防機械器具の運用に関する事。
- (5) 消防業務用燃料に関する事。
- (6) 消防団及び自衛消防隊の機械器具操作の指導に関する事。
- (7) 環境衛生委託業務の監督及び報告に関する事。

通信指令課

通信第1係・通信第2係・通信第3係

- (1) 消防隊、救急隊及び救助隊等の管制及び指令に関する事。
- (2) 消防通信の統制及び技術指導に関する事。
- (3) 通信施設の維持管理に関する事。
- (4) 通信施設の検査及び試験に関する事。
- (5) 通信施設の修理、改善及び研究に関する事。
- (6) 災害出動計画に関する事。
- (7) 気象情報に関する事。
- (8) 火災の警報に関する事。
- (9) 情報収集、記録及び統計に関する事。
- (10) 医療機関等の情報に関する事。
- (11) テレガイドによる情報提供に関する事。
- (12) その他通信指令業務及び課の庶務に関する事。

広域整備対策室

広域整備対策係

- (1) 広域常備消防力の充実整備に関する事。
- (2) 広域整備に関する調査、研究に関する事。
- (3) その他室主管の庶務に関する事。

消 防 署

庶 務 係

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書の受発及び保存に関する事。
- (3) 署員の配置及び服務に関する事。
- (4) 署員の勤務、規律及び教養訓練に関する事。
- (5) 署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- (6) 庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関する事。
- (7) 火災及び救急等の証明に関する事。
- (8) り災証明等に関する事。
- (9) 署内事務の連絡調整に関する事。
- (10) 諸統計に関する事。
- (11) 署員の招集に関する事。
- (12) その他署主管の庶務に関する事。

予 防 係

- (1) 火災予防思想の普及、宣伝に関する事。
- (2) 火災予防のための査察、指導に関する事。
- (3) 消防用設備等の効力及び研究に関する事。
- (4) 防火管理者及び消防設備士の指導に関する事。
- (5) 建築物の同意事務に関する事。
- (6) 建築物の検査に関する事。
- (7) 防火対象物関係台帳の整備保管に関する事。

中隊（第1中隊、第2中隊、第3中隊）

- (1) 災害の警戒防ぎよに関する事。
- (2) 救急・救助業務に関する事。

- (3) 消防計画に関すること。
- (4) 消防地水利の調査及び消防用水利の保全に関すること。
- (5) 災害の原因及び損害調査並びに報告に関すること。
- (6) 消防訓練の指導に関すること。
- (7) 消防演習及び訓練の計画立案に関すること。
- (8) 消防及び救急機械器具の運用に関すること。
- (9) 防火指導に関すること。
- (10) 予防査察に関すること。
- (11) 消防用設備等の設置指導に関すること。
- (12) 消防団の訓練指導に関すること。
- (13) 液化石油ガス施設の火災予防に関すること。
- (14) 消防関係法令に基づく各種届出に関すること。
- (15) 建築物の同意事務等に関すること。

分 署

- (1) 分署の庶務に関すること。
- (2) 分署の庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関すること。
- (3) その他の分掌事務は、中隊に準ずる。

出 張 所

- (1) 出張所の庶務に関すること。
- (2) 出張所の庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関すること。
- (3) その他の分掌事務は、中隊に準ずること。

機関員駐在所

- (1) 機関員駐在所の庶務に関すること。
- (2) 機関員駐在所の庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関すること。
- (3) その他の分掌事務は、中隊に準じる。

### 3. 予 算（当初予算）

（単位 千円）

款 項	目	節	令和3年度	令和2年度	増 減
1	議 会 費		1,718	1,718	0
2	総 務 費		3,203	3,095	108
	総務管理費		2,934	2,826	108
	監査委員費		98	98	0
	公平委員会費		171	171	0
3	消 防 費		2,259,659	2,209,016	50,643
	常備消防費		1,954,407	1,963,677	△ 9,270
		給 料	799,564	797,086	2,478
		職 員 手 当 等	612,293	617,636	△ 5,343
		共 済 費	279,969	280,101	△ 132
		災 害 補 償 費	3,318	3,180	138
		報 償 費	969	1,556	△ 587
		旅 費	4,292	4,021	271
		需 用 費	104,784	96,385	8,399
		役 務 費	31,428	27,857	3,571
		委 託 料	92,392	101,333	△ 8,941
		使用料及び賃借料	6,659	7,392	△ 733
		原 材 料 費	1	1	0
		備 品 購 入 費	3,598	10,359	△ 6,761
		負担金、補助及び交付金	13,920	14,712	△ 792
		補償、補填及び賠償金	1	1	0
		積 立 金	24	24	0
		公 課 費	1,195	2,033	△ 838
	消防施設費		305,252	245,339	59,913
		需 用 費	2,000	1,000	1,000
		委 託 料	183,688	0	183,688
		工 事 請 負 費	5,287	6,602	△ 1,315
		原 材 料 費	200	200	0
		備 品 購 入 費	114,077	237,537	△ 123,460
4	公 債 費		119,560	81,158	38,402
5	予 備 費		5,000	5,000	0
	計		2,389,140	2,299,987	89,153

#### 4. 職員の採用試験状況

区分 年 別	消 防 吏 員			事 務 職 員		
	応募者数	合格者数	倍 率	応募者数	合格者数	倍 率
平成23年	87	14	6.2			
平成24年	86	11	7.8			
平成25年	90	10	9.0			
平成26年	75	11	6.8			
平成27年	86	11	7.8			
平成28年	61	5	12.2			
平成29年	82	13	6.3			
平成30年	90	17	5.3			
令和元年	23	6	3.8			
令和2年	40	8	5.0			
令和3年	24	3	8.0			

※ 応募者については、試験当日の欠席者を含む。

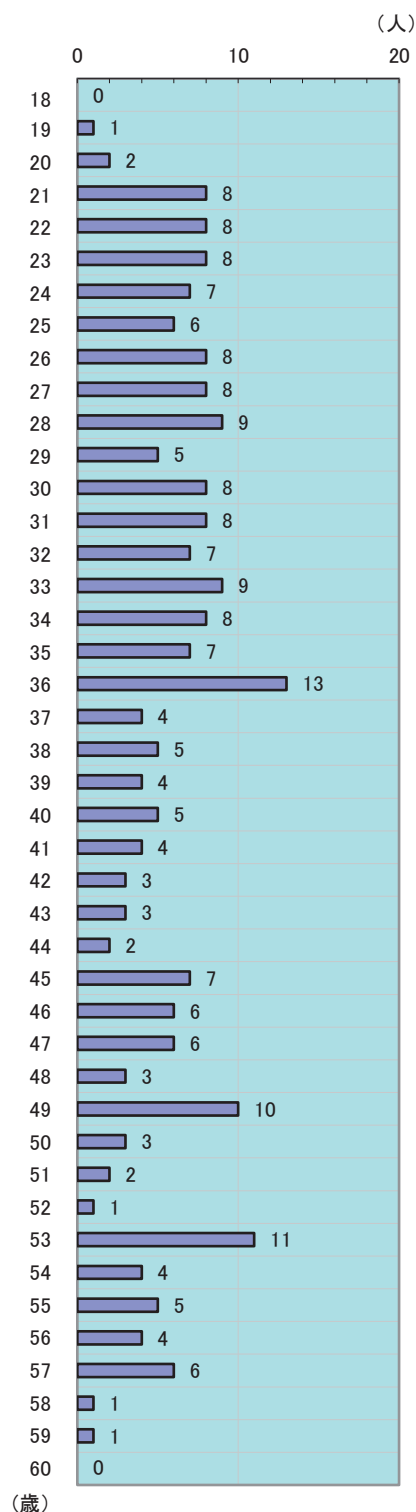
## 5. 職員の配置状況

区分 所属		総計	消防吏員									その他職員	
			計	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	計	事務吏員
定員		230											
実員		230	230	1	4	3	19	38	102	7	56		
消防本部	消防	長	1	1	1								
		次長	1	1		1							
		参事	3	3		3							
	総務課	課長	1	1			1						
		補佐	1	1				1					
		庶務係	3	3					1	2			
		経理係	3	3					1	2			
		教養係	(1)	(1)				(1)					
	予防課	課長	4	4					1	3			
		予備長	(1)	(1)		(1)							
		補佐	1	1				1					
		予防査察係	2	2					2				
		建築設備係	2	2					2				
	警防課	指導係	1	1				1					
		危険物係	3	3					1	2			
		課長	1	1			1						
		補佐	1	1				1					
		警防係	2	2					1	1			
	通信指令課	機械係	2	2				1		1			
		課長	(1)	(1)		(1)							
補佐		3	3				3						
通信第1係		3	3				1	1	1				
通信第2係		3	3					2		1			
対策室	通信第3係	3	3					1	2				
	室長	(1)	(1)		(1)								
	補佐	1	1				1						
消防中央署	本署	広域整備対策係											
		署長	(1)	(1)		(1)							
		副署長	1	1			1						
		庶務係	1	1					1				
	消防分署	予防係	2	2					2				
		中隊(1.2.3中隊)	85	85				4	12	37	4	28	
		西分署	32	32				1	5	16	1	9	
		東出張所	19	19				1	4	9		5	
		南出張所	13	13				1	1	5	1	5	
		玖北第1出張所	13	13				1		7		5	
		錦機関員駐在所	3	3						3			
		玖北第2出張所	13	13				1		8		4	
本郷機関員駐在所	3	3						3					

( ) は兼務

## 6. 職員の年齢構成

年 齢	消 防 職 員									
	人 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合計	230	1	4	3	19	38	102	7	56	0
平均	36.9	57.0	56.8	55.3	54.3	48.4	35.6	28.1	23.9	0.0
18	0									
19	1								1	
20	2								2	
21	8								8	
22	8								8	
23	8								8	
24	7								7	
25	6								6	
26	8							1	7	
27	8						2	2	4	
28	9						3	2	4	
29	5						4	1		
30	8						8			
31	8						8			
32	7						6	1		
33	9						8		1	
34	8						8			
35	7						7			
36	13						13			
37	4						4			
38	5						5			
39	4						4			
40	5						5			
41	4					1	3			
42	3						3			
43	3					1	2			
44	2						2			
45	7					6	1			
46	6					5	1			
47	6					3	3			
48	3					2	1			
49	10					9	1			
50	3				2	1				
51	2					2				
52	1					1				
53	11			1	6	4				
54	4				2	2				
55	5		1		3	1				
56	4		1	1	2					
57	6	1	1	1	3					
58	1				1					
59	1		1							
60	0									



7. 職員の消防学校等入校状況（過去20年間）

科目 年度別	消防大学校										山口県消防学校										救急救命士研修所	広島県消防学校救急科	全国市町村国際文化研修所	消防救急緊急自動車 運転技能者自働 課程							
	計	上級幹部科	幹部科	予防科	危険物科	警防科	救急科	救助科	火災調査科	救助C・特別高度	初任教育	幹部教育 初級	幹部教育 中級	幹部教育 上級	予防査察科	火災調査科	特殊災害科	大規模災害対策科	救助科	都市型救助講習					警防科	救急科 (標準課程含)	操法指導科	梯子車隊員教育	水難救助科	消防団指導科	起震車操作員講習
平成14年	24	1				1				2	2	1		2					2		1	4	4	2	1		1			1	
〃 15年	29	1						1		4	1			1	1				2			5	4	2			4			2	
〃 16年	29						1	1		4	1	1		1	1				1			6	4	2	1				3	2	
〃 17年	32									3	1	1	1	1	1	3			2			5	4	2	1				3	4	
〃 18年	36					1		1		5	1	1	1	1	1	3			2			6	4	2	1				3	2	
〃 19年	38					1	1			8	1	1	1	1	1	3			2			6		2	1				3	3	
〃 20年	50							1		10	1	1	1	1	1	3			2			16							5	3	
〃 21年	72						1	1		15	1	1	1	1	1	3			2			24					10	4	3	4	
〃 22年	53						1			13	1	1	1	1								23							2	3	
〃 23年	19							1		6	1				1				1						1					2	
〃 24年	26					1				11	1	1	1	1	1	3			1						1				2	1	
〃 25年	28									14	1	1	1	1	1	3			1					1					1	1	
〃 26年	27					1		1		12	1	1	1	1	1	2			1						1				2	1	
〃 27年	25						1			11	1	1	1	1	1	2			1						1				3	1	
〃 28年	28							1		10	1	1	1	1	1	2			1						2				5	1	
〃 29年	22						1			3	1	1	1	1	1	3			1						2				5	1	
〃 30年	28	1						1		9	1	1	1	1	1	3			1						2	1			5	1	
令和元年	37					1	1			17	1	1	1	1	1	3			1						2	1			5	1	
〃 2年	19					1	1			6	1	1	1	1	1	6			1						1				6	1	
〃 3年	21							1	1	5	1	1	1	1	1	6			1						2				3		
計	643	3	3	2	2	4	5	7	10	168	10	9	5	17	16	15	10	44	2	1	0	95	20	12	20	3	15	15	69	11	19

※初任総合教育（救急科含）

## 8. 職員免許資格取得状況

階 級 実 員	計	正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士
	230	1	4	3	19	38	102	7	56
大型自動車運転免許(11t以上)	183	1	4	3	15	31	99	6	24
中型自動車運転免許(11t未満)	1						1		
準中型自動車運転免許(8t未満)	24				4	7	2	1	10
普通自動車運転免許(3.5t未満)	22								22
けん引自動車運転免許	1						1		
自動二輪	86	1	1	3	12	23	35		11
1級小型船舶操縦士	1						1		
2級小型船舶操縦士	46	1	2	1	6	19	16		1
第2級陸上特殊無線技士	59		1	1	1	32	24		
第3級陸上特殊無線技士	68						66	2	
アマチュア無線技士	11		1	1	4	5			
救急隊員資格者(Ⅱ課程・標準)	154		4	3	18	38	88	3	
救急救命士	57			1	6	19	22	4	5
薬剤投与認定証	57			1	6	19	22	4	5
気管挿管認定証	20				2	10	8		
衛生管理者	7	1			1	3	2		
危険物取扱者(甲種)	3					2	1		
危険物取扱者(乙種)	121		1	1	3	15	63	7	31
危険物取扱者(丙種)	9					4	4		1
消防設備士(甲種)	2				1	1			
消防設備士(乙種)	25				1	5	19		
電気工事士(I種・II種)	8					1	6	1	
予防技術資格(防火査察)	58		1	2	1	6	37	3	8
予防技術資格(消防用設備等)	14				2	2	8		2
予防技術資格(危険物)	17					4	10	1	2
乙種火薬類取扱保安責任者	21		1	1	3	6	10		
潜水士	36		1	1	4	7	18	1	4
ボイラー技士	6					2	2		2
建築士(2級)	1				1				
ガス溶接技能講習	50	1	3	1	7	17	19	1	1
電気溶接技能講習	2						2		
小型移動式クレーン運転技能講習	62	1	3	1	7	17	31		2
玉掛技能講習	67	1	3	1	7	16	35	1	3
第二種酸素欠乏危険作業主任者	55	1	4	2	8	19	20		1
足場の組立等作業主任者	10		1	1		3	5		
一般毒劇物取扱者	1					1			
テクニカルロープレスキュー	12		2	1	4		5		
スイフトウォーターレスキュー	14		2	1	3	2	6		
操法指導員及び審査員	9	1	2	1	3	2			
特定化学物質等作業主任者技能講習	22		2	1	3	11	4		1
可搬式消防ポンプ等整備資格者	8				1	1	6		
伐木等労働安全衛生特別教育	34		1		1	7	24	1	
はしご車使用者講習	151	1	4	3	11	19	76	4	33

## 9. 消防音楽隊（昭和54年4月16日結成）

階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	市職員	計
人員	1	1	2	1	7	2	18	32

トランペット ④	パーカッション ⑥	トロンボーン ③
ホルン ②	ユーファニアム ①	バス・スーザフォン ①
フルート・ピッコロ ③	クラリネット ⑥	サクソフォン ⑤
	指揮者 ①	

## 令和3年活動状況

出演月日	行事名	対象人員	演奏曲数
3月27日（土）	愛宕山ふくろう公園供用開始イベント	1,050名	6曲
計	1回		



# III 消防施設



## 1. 消防庁舎の現況

区 分	所 在 地	建 築 年 月 日	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延 面 積 (㎡)
消 防 本 部	〒740-0037 岩国市愛宕町一丁目4番1号 代表 (0827) 31-0119  (総務課) (0827) 31-0193 (予防課) (0827) 31-0196 (警防課) (0827) 31-0199	平成27年 12月28日	耐火4階	16,872.00	3,743.36	8,715.15
中 央 消 防 署	消防本部と併用 (0827) 31-0205	—	—	—	—	—
中 央 消 防 署 西 分 署	〒742-0331 岩国市玖珂町6262番地1 (0827) 82-0119	令和2年 2月28日	耐火2階	5,288.26	1,052.60	1,445.98
中 央 消 防 署 東 出 張 所	〒740-0061 玖珂郡和木町和木四丁目1番2号 (0827) 21-2548	昭和49年 3月30日	耐火2階	672.00	276.15	333.04
中 央 消 防 署 南 出 張 所	〒740-1455 岩国市由宇町北一丁目5番1号 (0827) 63-0119	昭和49年 3月20日	耐火2階	648.60	230.00	279.00
中 央 消 防 署 玖北第1出張所	〒740-0502 岩国市美川町四馬神1296番地1 (0827) 76-0119	昭和49年 3月20日	耐火平屋	452.51	221.08	221.08
中 央 消 防 署 玖北第1出張所 錦機関員駐在所	〒740-0724 岩国市錦町広瀬12番地8 (0827) 72-2161	平成25年 12月16日	木造平屋	194.00	89.43	89.43
中 央 消 防 署 玖北第2出張所	〒740-1231 岩国市美和町生見537番地1 (0827) 96-0119	昭和49年 3月20日	耐火平屋	422.00	213.94	213.94
中 央 消 防 署 玖北第2出張所 本郷機関員駐在所	〒740-0602 岩国市本郷町本郷1604番地 (0827) 75-2319	昭和62年 11月30日	耐火2階	177.98	96.25	166.87

## 2. 消防車両保有状況

所属別 車両	計	消防本部	中央消防署							
			本署	西分署	東出張所	南出張所	玖北第一出張所	錦機関員駐在所	玖北第二出張所	本郷機関員駐在所
計	52	13	18	6	4	3	3	1	3	1
消防ポンプ自動車	10	(1)	2	1	1	1	1	1	1	1
水槽付消防ポンプ自動車	5	(1)	3	1						
化学消防ポンプ自動車	2		1		1					
大型高所放水車 (はしご車兼用)	1		1							
15mはしご付消防ポンプ自動車	1		1							
泡原液搬送車	1		1							
救助工作車	2		1	1						
多目的搬送車	1		1							
高規格救急自動車	11	(2)	3	2	1	1	1		1	
指揮隊車	1		1							
指揮車	1	1								
指令車	2	1	1							
指令兼広報車	5			1	1	1	1		1	
査察車等	6	4	2							
防火広報車	1	1								
人員搬送車(バス)	1	1								
資機材搬送車	1	1								

※ ( ) 書きは予備車

### 3. 消防車両一覧表

所 属	名 称	登録番号	車 名	型 別	ポンプ性能	無 線 局 名
消 防 本 部	指 揮 車	山口300め8730	マツダ			いわくにしき1
〃	指 令 車	山口800す1567	三菱	4WD		いわくにしれい1
〃	査 察 兼 広 報 車	山口501ほ7802	日産			いわくにささつ1
〃	連 絡 車	山口501ふ6507	日産			いわくにれんらく1
〃	防 火 広 報 車	山口800さ8917	トヨタ			いわくにこうほう1
〃	人 員 搬 送 車	山口830す1892	日野			いわくにはんそう1
〃	資 機 材 搬 送 車	山口800す1519	日野	4WD		いわくにさぎょう1
〃	軽 連 絡 車	山口480す4862	ダイハツ			
〃	応 急 手 当 普 及 推 進 車	山口480せ3205	ダイハツ			
〃	消 防 ポ ン プ 自 動 車 ( 予 備 車 )	山口800さ5960	日野	CD-I型	モリタ A-2級	ちゅうおう4
〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車 ( 予 備 車 )	山口800ほ348	いすゞ	水-II型	モリタ A-2級	ちゅうおう5
〃	高 規 格 救 急 自 動 車 ( 予 備 車 )	山口800さ9718	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう4
〃	高 規 格 救 急 自 動 車 ( 予 備 車 )	山口800さ9302	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう5
中 央 消 防 署 本 署	指 揮 隊 車	山口800す4330	トヨタ	4WD		ちゅうおうしきたい1
〃	指 令 車	山口800さ8482	トヨタ	4WD		ちゅうおうしれい1
〃	消 防 ポ ン プ 自 動 車 900リットル水槽付	山口800す2553	日野	CD-I型	モリタ A-2級	ちゅうおう1
〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800ほ2230	日野	水-II型	モリタ A-2級	ちゅうおうタンク1
〃	消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800す4875	日野	CD-I型	モリタ A-2級	ちゅうおう2
〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800ほ1937	日野	水-II型	日本機械 A-2級	ちゅうおうタンク3
〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800ほ2073	日野	水-I型	モリタ A-2級	ちゅうおうタンク2
〃	救 助 工 作 車	山口800ほ2075	日野	II-型		ちゅうおうきゅうじょ1
〃	多 目 的 搬 送 車	山口88た9978	日産	2.6tクレーン 油圧荷台付		ちゅうおうはんそう1
〃	大 型 高 所 放 水 車 ( は し ご 車 兼 用 )	山口830み119	日野	40m (はしご付)	モリタ A-2級	ちゅうおうはしご1
〃	大 型 化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800ほ2229	日産	大-I型	モリタ A-1級	ちゅうおうかがく1
〃	泡 原 液 搬 送 車	山口800ほ188	三菱	5,000ℓ	シバウラ B-3級	ちゅうおうげんえき1
〃	は し ご 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800ほ1990	日野	15m	モリタ A-2級	ちゅうおうはしご2

所 属	名 称	登録番号	車 名	型 別	ポンプ性能	無 線 局 名
中央消防署本署	高規格救急自動車	山口800す3135	日産	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう1
〃	高規格救急自動車	山口800す4264	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう2
〃	高規格救急自動車	山口800す5713	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう3
〃	査察兼広報車	山口800す4321	日産			ちゅうおうささつ1
〃	査察兼広報車	山口400ち8192	日産			ちゅうおうささつ2
中央消防署 西分署	水槽付消防ポンプ自動車	山口800は2155	日野	水-I型	モリタ A-2級	にしタンク1
〃	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ9025	日野	CD-I型	モリタ A-2級	にし1
〃	救助工作車	山口800は2154	日野	II-型		にしきゅうじょ1
〃	高規格救急自動車	山口800す6225	トヨタ	4WD		にしきゅうきゅう1
〃	高規格救急自動車	山口800す6517	トヨタ	4WD		にしきゅうきゅう2
〃	指令兼広報車	山口800さ8847	スズキ	4WD		にししれい1
中央消防署 東出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す380	日野	CD-I型	日本機械 A-2級	わき1
〃	化学消防ポンプ自動車	山口800は1418	日野	化-II型	日本機械 A-2級	わきかがく1
〃	高規格救急自動車	山口800す3136	日産	4WD		わききゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ9492	スズキ	4WD		わきしれい1
中央消防署 南出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す5948	日野	CD-I型	日本機械 A-2級	ゆう1
〃	高規格救急自動車	山口800す4263	トヨタ	4WD		ゆうきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ9493	スズキ	4WD		ゆうしれい1
中央消防署 玖北第1出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す862	日野	CD-I型 (4WD)	モリタ A-2級	みかわ1
〃	高規格救急自動車	山口800す7360	トヨタ	4WD		みかわきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ8848	スズキ	4WD		みかわしれい1
中央消防署 玖北第1出張所 錦機関員駐在所	消防ポンプ自動車	山口800す5297	日野	CD-I型 (4WD)	日本機械 A-2級	ひろせ1
中央消防署 玖北第2出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す3694	日野	CD-I型 (4WD)	日本機械 A-2級	みわ1
〃	高規格救急自動車	山口800す5141	トヨタ	4WD		みわきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ8850	スズキ	4WD		みわしれい1
中央消防署 玖北第2出張所 本郷機関員駐在所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ9653	日野	CD-I型 (4WD)	モリタ A-2級	ほんごう1

#### 4. 機械器具等保有状況

種類	所属別	合計	消防本部	中央消防署					
				本署	西分署	東出張所	南出張所	玖北第一出張所 (錦機関員駐在所含)	玖北第二出張所 (本郷機関員駐在所含)
一般用救助器具	かぎ付きはしご	7		4	2		1		
	三連はしご	9		4	3	1	1		
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	13		6	1	1	1	2	2
	空気式救助マット	2		1	1				
	救命索発射銃	3		2	1				
	サバイバースリング又は救助用縛帯	14		9	4			1	
平担架	1				1				
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	9	2	3	2			1	1
	油圧スプレッター	4		3	1				
	可搬ウインチ	3		2	1				
	マンホール救助器具	3		2	1				
	マット型空気ジャッキ	3		2	1				
	大型油圧スプレッター	3		2	1				
	救助用支柱器具	9		7	2				
チェーンブロック	0								
切断用器具	油圧切断機	1		1					
	エンジンカッター	6		2	2	1	1		
	ガス溶断器	2		1	1				
	チェーンソー	9		2	2	2	1	1	1
	鉄線カッター	33		10	11	3	1	5	3
	空気鋸	1		1					
	大型油圧切断機	3		2	1				
空気切断機	1		1						
破壊用器具	万能斧	19		8	3	3	2	1	2
	ハンマー	16		8	3	2	1	1	1
	携帯コンクリート破壊器具	5		2	3				
	削岩機	2		1	1				
	ハンマドリル	3		2	1				
測定用器具	生物剤検知器	0							
	可燃性ガス測定器	21		6	9	1	1	2	2
	有毒ガス測定器	17		5	8	1	1	1	1
	酸素濃度測定器	17		5	8	1	1	1	1
	放射線測定器	12		6	3	3			
呼吸保護用器具	空気呼吸器	78	6	47	12	6	3	2	2
	酸素呼吸器	2		2					
	簡易呼吸器	4		2	2				
	防塵マスク	7		5	2				
	送排風機	3		1	2				
除染用具	除染シヤワー	3	1	2					
	除染剤散布器	3	1	2					

種類	所属別	合計	消防本部	中央消防署					
				本署	西分署	東出張所	南出張所	玖北第一出張所 (錦機関員駐在所含)	玖北第二出張所 (本郷機関員駐在所含)
隊員保護用器具	耐電手袋	47		24	8	7	3	3	2
	耐電衣	17		10	5	2			
	耐電ズボン	17		10	5	2			
	耐電長靴	39		20	8	4	2	3	2
	防塵メガネ	0							
	携帯警報器	78	6	47	12	6	3	2	2
	防毒マスク	22		5	5	3	3	3	3
	化学防護服(陽圧式化学防護服除く)	23		5	14	2	2		
	陽圧式化学防護服	14		5	9				
	耐熱服	8			5		3		
放射線防護服	6			4		2			
潜水救助用器具	潜水器具	16		16					
	救命胴衣	58		28	12	7	4	2	5
	水中投光器	23		23					
	救命浮環	9		3	2	1	1	1	1
	救命ボート	3		3					
	船外機	3		3					
	水中スクーター	2		2					
	水中無線機	8		8					
水中時計	3		3						
その他の救助用器具	バスケット型担架	9		3	2	1	1	1	1
	簡易画像探照機	2		1	1				
	投光器	20		10	3	2	1	2	2
	携帯投光器	40		19	7	7	1	2	4
	携帯拡声器	25	1	9	6	3	1	2	3
	応急処置用セット	4		1	2	1			
	車両移動器具	1		1					
	緩降機	4		3	1				
	ロープ登降機	0							
	救助用降下機	0							
発電機	33		3	10	7	4	3	2	4
緊援隊用資器材	エアートント(6m×6m)	1		1					
	エアートント(6m×5m)	1		1					
	エアートント(4m×4m)	1		1					
	簡易ベッド	38		38					
	テール	5		5					
	イス	18		18					
	寝袋	38		38					

5. 消防用水利の現況

施設別	防火水槽（貯水槽）												プール		消火栓												消火栓合計																
	公設						私設						40t以上計	公設	私設	公設 (mm)						私設 (mm)																					
	非耐震			耐震			非耐震			耐震						75	100	150	200	250	300	350以上	75	100	150	200		250	300	350以上													
	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t																100t												
市町別	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	40t以上計	公設	私設	戸	75	100	150	200	250	300	350以上	計	75	100	150	200	250	300	350以上	計							
岩国地域	84	72	1		4	35	1	6	115	6	33	7	1	14			54	29	1	12	622	610	290	132	87	58	211	2010	65	60	8					18	151	2,161					
由宇地域	1	29				18	1	48	1	6	1		1				8	4	1	1	102	54	39	20		5												2	222				
玖珂地域	1	21				1	27	49	4	4	1		1				6	3	2	47	101	46	5	20	1														2	222			
本郷地域	3	29				5		34									0	2			14	21	19																0	54			
周東地域	6	57				20	2	1	80	4	1		9	1			11	11	14	1	75	18	9																		0	103	
錦地域	19	69	1			13		83									0	9			70	44	14	7																	15	150	
美川地域	9	8				6		14									0	1			14	15																			26	55	
美和地域	2	56				30		86									0	6			78	62	24																		0	164	
和木町		8	1			8		17		1	1					2	3			12	50	35	27	16																		3	134
計	125	349	3	0	4	136	30	8	526	14	45	1	9	1	25	1	0	81	68	1	41	998	1,017	477	189	107	64	214	3,066	104	69	8	0	0	0	0	0	0	0	18	199	3,265	



# IV 通信施設



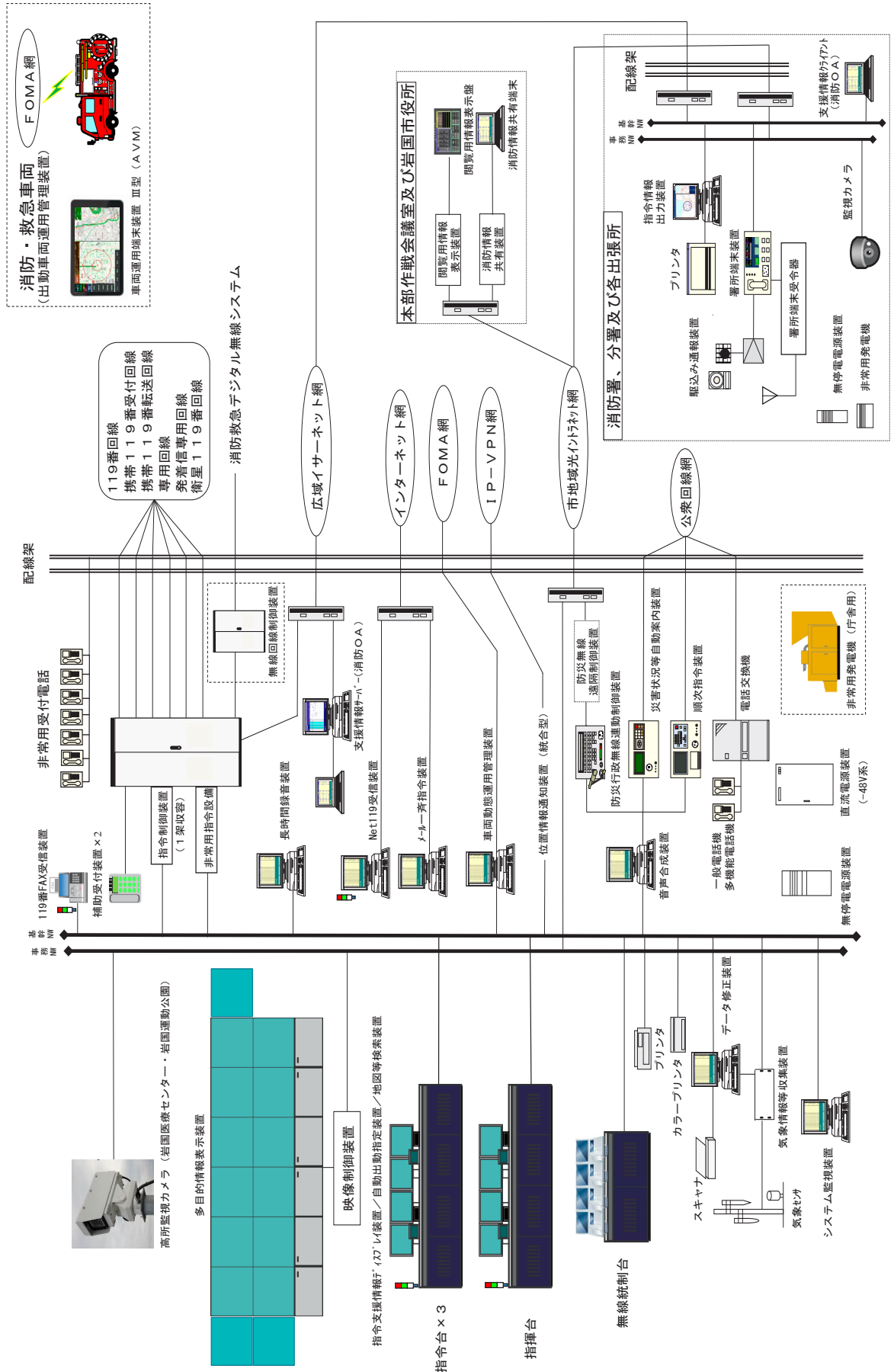


## 1. 消防通信の概況

種 別 所 属 別	計	消 防 本 部	中 央 消 防 署							
			本 署	西 分 署	東 出 張 所	南 出 張 所	玖 北 第 一 出 張 所	錦 機 関 員 駐 在 所	玖 北 第 二 出 張 所	駐 本 郷 機 関 員 所
計	78	39	7	6	6	4	4	4	4	4
通信指令システム	1	1								
指令電送回線	9	2	0	1	1	1	1	1	1	1
119番専用回線	4	4								
携帯119番回線	2	2								
119番FAX受信回線	1	1								
Net119回線	1	1								
衛星119番回線	2	2								
携帯119番転送回線	1	1								
指令台発着信専用回線	1	1								
関係機関専用回線	1	1			1					
市役所専用回線	2	2								
警察専用回線	1	1								
西日本高速道路(株)専用回線	1	1								
米軍基地専用回線	1	1								
防火相談ダイヤル	1	1								
一般加入電話回線	10	3	0	1	1	1	1	1	1	1
FAX回線	11	3	1	1	1	1	1	1	1	1
順次指令用加入回線	3	3								
住民案内回線	1	1								
GPS-AVM専用回線	1	1								
IP-VPN回線	2	2								
携帯電話	21	5	6	3	2	1	1	1	1	1

※ 加入電話兼用回線

## 2. 高性能消防指令センター構成図



### 3. デジタル無線通信系統図

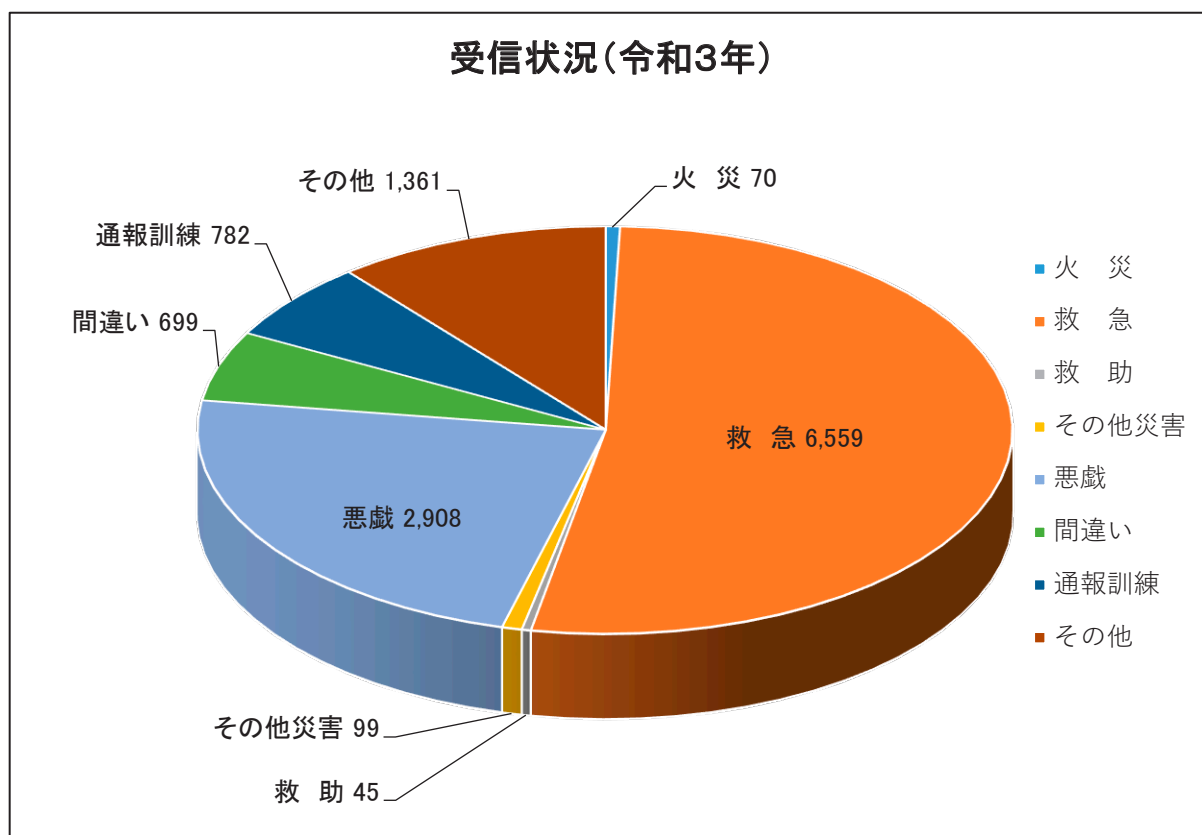


種別	場所	消防本部	高照寺山	羅漢山	そうえもん山	中央消防署							合計		
						中央署	西分署	東出張所	南出張所	玖北第1出張所	錦機関員駐在所	玖北第2出張所		本郷機関員駐在所	
デジタル無線	基地局	1	1	1	1									4	
	固定局	1	1	1	1									4	
	移動局	卓上型					2	1	1	1	1	1	1	1	9
		車載型	11				18	6	4	3	3	1	3	1	50
		携帯型	6				16	6	4	3	3	1	3	1	43
		可搬型					1								1
アナログ無線	車載型					1		1						2	
	携帯型					7		2						9	
	可搬型													0	

※ 地震等の災害の発生に伴う停電対策として、直流電源装置及び非常用発電機を設置しております。

#### 4. 月別 119 番受信状況

	火 災	救 急	救 助	その他災害	悪 戯	間 違 い	通報訓練	そ の 他	計
1 月	5	571	0	22	206	68	36	102	1,010
2 月	4	488	3	6	218	48	67	80	914
3 月	1	533	1	11	204	64	88	98	1,000
4 月	12	512	1	9	240	57	31	116	978
5 月	1	532	3	4	135	54	54	125	908
6 月	6	520	3	7	129	53	78	107	903
7 月	3	656	5	5	284	47	41	124	1,165
8 月	7	580	7	13	333	61	32	130	1,163
9 月	6	426	4	8	355	47	32	99	977
10 月	5	577	8	5	416	84	88	153	1,336
11 月	4	550	6	3	317	55	126	115	1,176
12 月	16	614	4	6	71	61	109	112	993
計	70	6,559	45	99	2,908	699	782	1,361	12,523



# V 火 災



## 1. 火災概況

### (1) 火災件数

令和3年中の出火総件数は46件で、前年比20件減少した。この内、前年比で建物火災は4件、車両火災は8件、船舶火災は1件、その他火災は7件の減少となっている。

火災による死者は2名で1名の減少、負傷者は2名で6名の減少であった。

種 別	件 数	割 合	増 減
建 物 火 災	21件	46%	△4件
林 野 火 災	4件	9%	—
車 両 火 災	1件	2%	△8件
船 舶 火 災	0件	0%	△1件
航 空 機 火 災	0件	0%	—
そ の 他 火 災	20件	43%	△7件

### (2) 出火原因

出火原因は「たき火」が10件と最も多く、次いで「電灯・電話等の配線」が4件、「たばこ」と「電気機器」が3件の順となっている。

火災種別ごとの主な出火原因は以下のとおりである。

建 物 火 災		林 野 火 災		車 両 火 災		その他の火災	
た ば こ	1件	た ば こ	1件	排 気 管	1件	放 火	1件
放 火 の 疑 い	2件	た き 火	1件			た ば こ	1件
た き 火	1件	電灯・電話等の配線	1件			た き 火	8件
ス ト ー ブ	1件	焼 却 炉	1件			火 遊 び	1件
電灯・電話等の配線	2件					電灯・電話等の配線	1件
配 線 器 具	1件					焼 却 炉	1件
電 気 機 器	3件					そ の 他	6件
風 呂 か ま ど	1件					不 明	1件
そ の 他	4件						
不 明	5件						

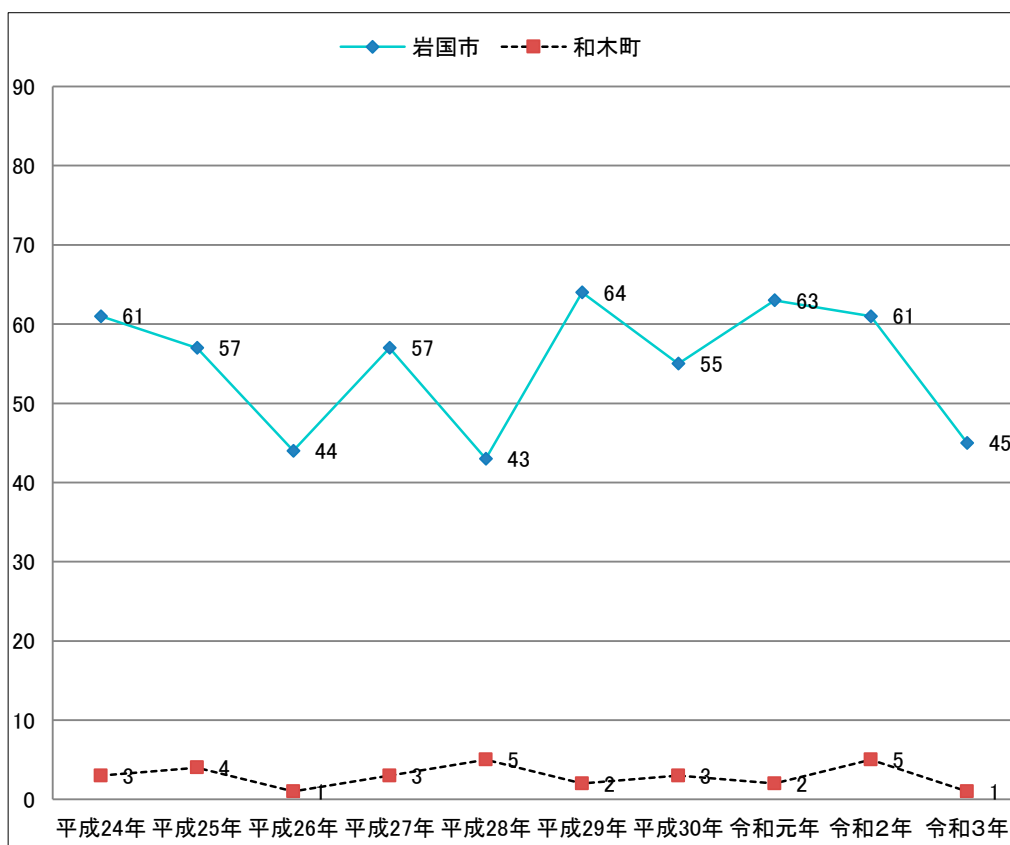
(3) 火災損害

火災損害の合計は26,064（千円）で、前年比908（千円）の増となった。

種 別	損 害 額 (千円)	増 減(千円)
建 物 の 損 害	23,528	571
林 野 の 損 害	19	△29
車 両 の 損 害	310	△1,223
船 舶 の 損 害	—	△200
航 空 機 の 損 害	—	—
そ の 他 の 損 害	2,207	1,789

(4) 年別・管轄別・市町別火災発生状況

年別		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	年別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	年別		令和2年	令和3年
中央消防署	本署	18	14	14	12	中央消防署 (統合後)	本署	21	39	34	31	中央消防署	本署	33	24
	分遣所	9	3	6	5		東所	8	5	3	4		西分署	16	12
	東所	4	5	1	3		南所	5	4	4	9		東所	6	3
	南所	4	3	3	3		玖西所	9	13	7	12		南所	5	3
小計	35	25	24	23	玖1所		2	4	2	5	玖1所		2		
西消防署	本署	7	11	8	20		玖2所	3	1	8	4		玖2所	4	4
	玖西所	16	16	12	10		計	48	66	58	65		計	66	46
	玖1所	2	2	1	2		岩国地域	25	44	36	34		岩国地域	39	28
	玖2所	4	7		5		由宇地域	4	2	3	8		由宇地域	3	1
	小計	29	36	21	37		玖珂地域	5	3	1	3		玖珂地域	5	4
	岩国地域	本郷地域	1				本郷地域	1	1		2	本郷地域			
		周東地域	7	10	10	5	周東地域	4	10	6	9	周東地域	9	8	
		錦地域	1	2	1	1	錦地域	2	3	1	4	錦地域	2		
美川地域		1			1	美川地域					美川地域				
美和地域		3	7		5	美和地域	2	1	8	3	美和地域	3	4		
岩国市小計		61	57	44	57	岩国市小計	43	64	55	63	岩国市小計	61	45		
和木町		3	4	1	3	和木町	5	2	3	2	和木町	5	1		
計		64	61	45	60	計	48	66	58	65	計	66	46		



## 2. 管轄別・市町別・月別火災発生状況

区分 管轄別 市町別		計	火災種別					爆 発	建 物 火 災												
			建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機		そ の 他	焼 損 棟 数				罹 災 世 帯				罹 災 人 員			
										出 火 棟				類 焼 棟					全 損	半 損	小 損
										全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や				
中 央 消 防 署	本 署	24	11	2			11		3		2	6	3		2	3	6		8	24	
	西 分 署	12	6		1		5	1	1			4							1	2	
	東 所	3					3														
	南 所	3	3						2	1								1		2	
	玖 1 所																				
	玖 2 所	4	1	2			1		1					1							
計		46	21	4	1		20	1	7	1	2	10	3		3	3	6	1	9	28	
岩 国 市	岩国地域	28	13	2			13		4	1	2	6	3		2	3	6	1	8	26	
	由宇地域	1	1						1												
	玖珂地域	4	3				1		1			2									
	本郷地域																				
	周東地域	8	3		1		4	1				2							1	2	
	錦 地域																				
	美川地域																				
美和地域	4	1	2			1		1						1							
岩国市小計		45	21	4	1		19	1	7	1	2	10	3		3	3	6	1	9	28	
和 木 町		1					1														
そ の 他																					
計		46	21	4	1		20	1	7	1	2	10	3		3	3	6	1	9	28	
1 月		2	2						1		1					2	1		3	9	
2 月		5					5														
3 月		2	2									2									
4 月		6	2	1			3		1			1									
5 月		2		1			1														
6 月		4	3				1		1			2				1		1		5	
7 月		2	1	1								1									
8 月		5	3				2		1		1	1	3		2	1	4		4	11	
9 月		4	2		1		1		1			1									
10 月		4	3	1				1	1	1								1		2	
11 月		4	2				2					2							1	1	
12 月		6	1				5		1					1							
計		46	21	4	1		20	1	7	1	2	10	3		3	3	6	1	9	28	

区 分 管轄別 市町別		死 傷 者		焼 損 面 積			損 害 額 (千円)								
		死 者	負 傷 者	建 物		林 野 面 積 (a)	建 物 損 害			林 野 の 損 害	車 両 の 損 害	船 舶 の 損 害	航 空 機 の 損 害	そ の 他 の 損 害	計
				床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)		建 物	収 容 物	小 計						
中 央 消 防 署	本 署		1	663	35	7	15,253	2,728	17,981		10			81	18,072
	西 分 署	1	1	30		2	1,553	698	2,251		300			2,104	4,655
	東 所													10	10
	南 所	1		58	60		2,541	655	3,196					11	3,207
	玖 1 所														
	玖 2 所			19		8	65	35	100	19				1	120
計		2	2	770	95	17	19,412	4,116	23,528	19	310			2,207	26,064
岩 国 市	岩 国 地 域	1	1	697	95	7	17,711	3,051	20,762		10			84	20,856
	由 宇 地 域			24			83	332	415					10	425
	玖 珂 地 域			30			1,513	698	2,211					2,081	4,292
	本 郷 地 域														
	周 東 地 域	1	1			2	40		40		300			23	363
	錦 地 域														
	美 川 地 域														
	美 和 地 域			19		8	65	35	100	19				1	120
岩 国 市 小 計		2	2	770	95	17	19,412	4,116	23,528	19	310			2,199	26,056
和 木 町														8	8
そ の 他															
計		2	2	770	95	17	19,412	4,116	23,528	19	310			2,207	26,064
1 月				196			9,167	756	9,923		10			49	9,982
2 月						7								2	2
3 月								300	300						300
4 月				24		7	86	332	418	10				33	461
5 月						2								3	3
6 月				139			3,064	941	4,005					18	4,023
7 月								289	289						289
8 月			1	328	35		3,023	1,028	4,051					15	4,066
9 月		1		9			135	116	251		300			4	555
10 月		1	1	55	60	1	3,872	317	4,189	9				2,081	6,279
11 月								2	2						2
12 月				19			65	35	100					2	102
計		2	2	770	95	17	19,412	4,116	23,528	19	310			2,207	26,064

### 3. 火災別・市町別・月別出火原因

区分	管轄別 市町別	合計	放	タ	放	た	こ	ス	火	火	電	マ	配	焼	電	溶	排	風	灯	電	煙	取	衝	内	コ	ボ	か	そ	不	
			火	バ	の	き	ん	ト	あ	入	電	マ	配	焼	電	溶	排	風	灯	電	煙	取	衝	内	コ	ボ	か	そ	不	
		計	火	コ	い	火	ろ	ブ	び	れ	線	タ	器	具	炉	器	管	ど	火	置	道	灰	花	関	ツ	ル	ど	他	中	
火災 種別	建物	21		1	2	1		1			2		1		3			1										4	5	
	林野	4		1		1					1			1																
	車両	1															1													
	船舶																													
	航空機																													
	その他	20	1	1		8			1		1			1														6	1	
爆発	1																											1		
計		46	1	3	2	10		1	1	4		1	2	3		1	1										10	6		
岩国市小計	岩国地域	28	1	3	1	4		1	1	3		1		2													6	5		
	由宇地域	1																											1	
	玖珂地域	4				1								1														2		
	本郷地域																													
	周東地域	8			1	3				1			1			1												1		
	錦地域																													
	美川地域																													
	美和地域	4				2								1				1												
計	45	1	3	2	10		1	1	4		1	2	3		1	1										9	6			
和木町	1																											1		
その他																														
計	46	1	3	2	10		1	1	4		1	2	3		1	1										10	6			
1月	2						1																						1	
2月	5		1		4																									
3月	2													1														1		
4月	6			1	1				1				1														1	1		
5月	2	1							1																					
6月	4			1					1																		1	1		
7月	2		1																									1		
8月	5		1																								3	1		
9月	4				2									1	1															
10月	4				1									1													1	1		
11月	4				1			1	1		1																			
12月	6				1									1				1									2	1		
計	46	1	3	2	10		1	1	4		1	2	3		1	1										10	6			

#### 4. 令和3年中の主な火災

整理番号	火災種別	出火月日	出火時分(頃)	入電時分	鎮火時分	出火場所	火元用途	焼損面積(m <sup>2</sup> )	死者	損害額(千円)
1	建物	1月19日	1:05	1:13	3:42	岩国市青木町	住宅	173		9,732
2	建物	6月1日	1:20	1:26	3:46	岩国市尾津町	住宅	139		4,011
3	建物	8月16日	18:20	18:27	22:44	岩国市黒磯町	住宅	328		4,009
4	車両	9月21日	19:35	19:44	21:08	岩国市周東町	乗用自動車		1	303
5	建物	10月25日	13:35	13:51	14:08	岩国市玖珂町	倉庫	30		3,702
6	建物	10月30日	11:15	11:24	13:05	岩国市長野	住宅	25	1	2,532

※ 損害額が100万円以上又は死者の生じた火災を計上。

#### 5. 過去10年間の火災動態

種別 年別	火災種別							損害額 (単位千円)	死傷者	
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計		死者	負傷者
平成24年	32	1	6			25	64	53,172	1	20
〃 25年	24	2	5			30	61	1,216,255	2	29
〃 26年	21	5	4			15	45	231,854	3	15
〃 27年	29		10			21	60	44,630	2	6
〃 28年	23		4			21	48	203,612	1	6
〃 29年	32	3	12			19	66	53,737	4	8
〃 30年	24	3	5			26	58	56,194	2	6
令和元年	31	5	5			24	65	54,781	2	5
〃 2年	25	4	9	1		27	66	25,156	3	8
〃 3年	21	4	1			20	46	26,064	2	2
計	262	27	61	1	0	228	579	1,965,455	22	105

## 6. 過去10年間の建物火災発生場所分類

年 別 場 所	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
計	32	24	21	29	23	32	24	31	25	21
住 宅	13	10	8	11	13	15	14	10	10	7
併 用 住 宅					1	1				
共 同 住 宅	7		1	4	2	3	1	3	5	
劇 場										
公 会 堂		1								
キ ャ バ レ ー										
遊 技 場								2		
性 風 俗										
カラオケボックス										
料 理 店										
飲 食 店					1	2	1		1	1
物 品 販 売 店 舗	1			1		2		1	1	
旅 館	1	1	1							
病 院								1		
グ ル ー プ ホ ー ム										
社 会 福 祉 施 設						1				
幼 稚 園				1						
学 校		1								1
図 書 館										
特 殊 浴 場										
公 衆 浴 場										
停 車 場										
神 社 ・ 寺 院				1						2
工 場	2	2	2	5	2	3	1	3	3	5
ス タ ジ オ										
駐 車 場										
航 空 機 格 納 庫										
倉 庫	2	2	2	1		2	1	5	3	2
事 務 所	1	1	1		2					
複 合 用 途 (特 定)	1	4	2	1				1	1	
複 合 用 途 (非 特 定)	2		1	1	1	2		1		
地 下 街										
準 地 下 街										
文 化 財										
そ の 他	2	2	3	3	1	1	6	4	1	3

# VI 救 急



## 1. 救急概況

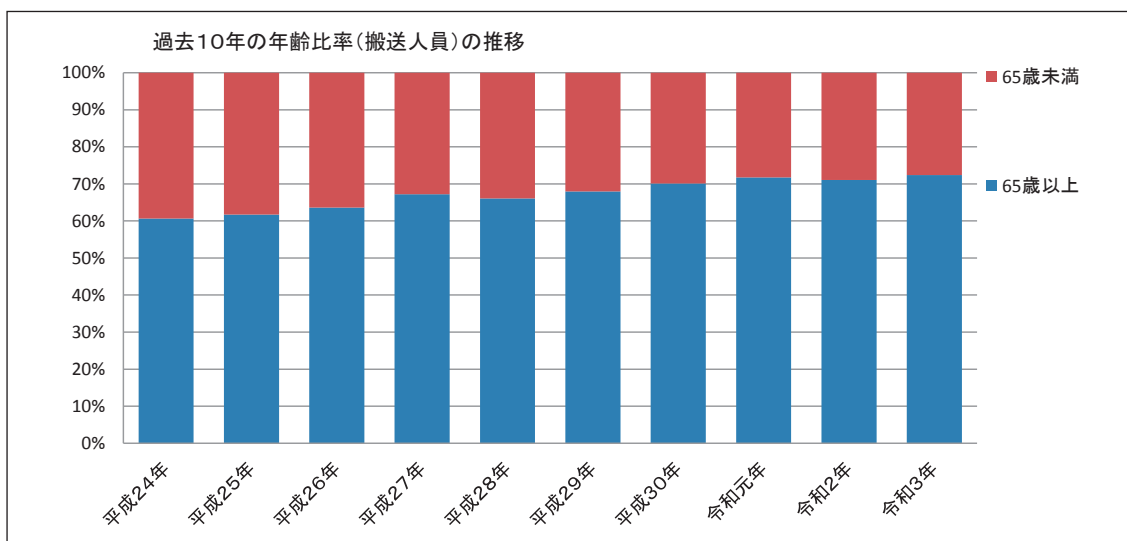
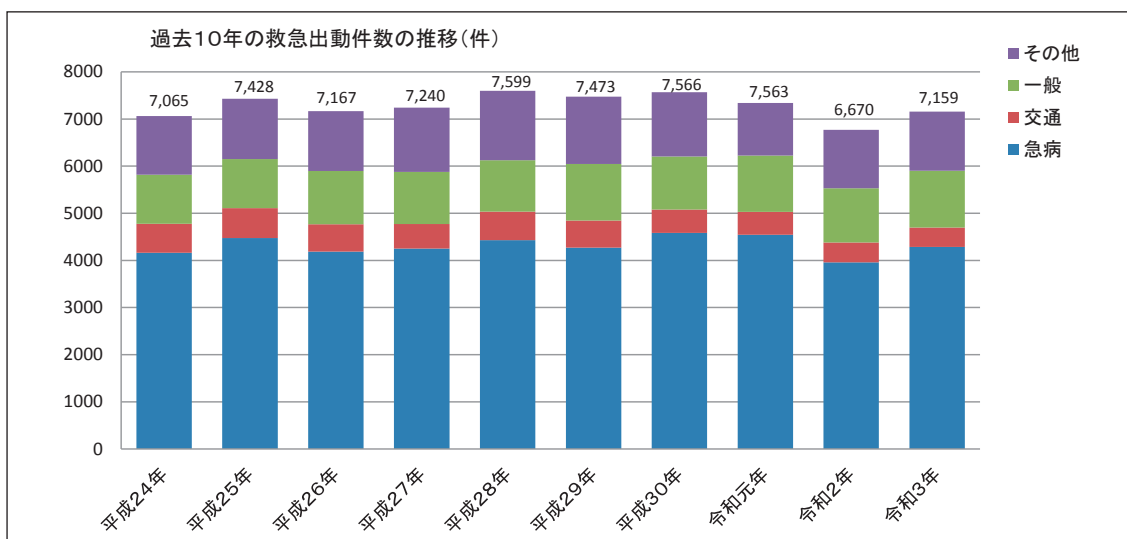
救急業務は、昭和38年に法制化されて以来、救急救命士制度導入等、着実に救急業務の高度化が図られてきており、地域住民にとって不可欠な行政サービスとして定着している。

令和3年の出動件数は7,159件（1日平均19.6件）で、令和2年に比べると489件の増加、搬送人員も6,391人と318人の増加となっている。

現場到着までの所要時間は平均で8.3分、医療機関収容までの所要時間は平均41.5分となっている。（入電起点）

搬送人員の年齢比率を見ると、65歳以上の搬送人員が全体の72%（4,625人）となっており、超高齢化への急速な移行は依然、深刻化し継続している。

今後も引きつづき医療機関との連携強化につとめ、指導救命士を中心としたメディカルコントロール体制の充実、またAEDの普及に伴い、バイスタンダーが行う応急手当の普及啓発活動の推進に積極的に取り組む必要がある。



## 2. 管轄別・市町別・月別救急発生状況

種別 管轄別 市町別 月	計			火災			自然災害			水難			交通			労働災害		
	出場 件数	不搬 送数	搬送 人員	出場 件数	不搬 送数	搬送 人員	出場 件数	不搬 送数	搬送 人員	出場 件数	不搬 送数	搬送 人員	出場 件数	不搬 送数	搬送 人員	出場 件数	不搬 送数	搬送 人員
中央消防署	本署	4,081	464	3,637	17	16	1	1	1	3	2	1	243	49	210	32	1	31
	西分署	1,169	129	1,043	5	4	1			1	1		64	8	59	10		10
	東所	718	103	616						2	2		44	5	39	14		15
	南所	638	72	568						1	1		33	7	28	3		3
	玖北第1	288	14	276						2	2		12	3	11	2		2
	玖北第2	265	18	251						1	1		13	4	12	2		2
計	7,159	800	6,391	22	20	2	1	1	10	9	1	409	76	359	63	1	63	
岩国地域	岩国地域	4,811	568	4,266	12	11	1	1	1	6	5	1	282	52	247	40	1	40
	由宇地域	440	44	398	1	1							27	7	22	1		1
	玖珂地域	553	61	494	3	3							34	6	30	5		5
	本郷地域	53	3	50									1		1			
	周東地域	539	69	470	4	3	1			1	1		25	3	22	6		6
	錦地域	215	12	204						2	2		9	3	7	2		2
	美川地域	73	3	72									5	2	5			
	美和地域	198	12	188	1	1							10	2	10	2		2
岩国市小計	6,882	772	6,142	21	19	2	1	1	9	8	1	393	75	344	56	1	56	
和木町	273	26	247	1	1							15	1	14	7		7	
周南市																		
大竹市	3	1	2						1	1		1		1				
その他	1	1																
合計	7,159	800	6,391	22	20	2	1	1	10	9	1	409	76	359	63	1	63	
1月	606	82	526	2	2							19	8	13	6		6	
2月	517	66	451									28	6	22	4		4	
3月	568	78	495	1	1				2	2		30	7	28	4		4	
4月	553	50	503	2	2				3	3		40	2	38	4		4	
5月	599	51	555									49	8	46	6		6	
6月	565	64	503	3	3				4	3	1	24	4	22	2		2	
7月	699	80	624	2	2				1	1		49	7	46	3		3	
8月	634	66	570	3	2	1						28	5	24	6		6	
9月	536	57	481	3	3		1	1				24	4	21	10		10	
10月	609	56	554	3	2	1						37	9	29	4		4	
11月	595	64	532	1	1							41	9	33	3		3	
12月	678	86	597	2	2							40	7	37	11	1	11	
計	7,159	800	6,391	22	20	2	1	1	10	9	1	409	76	359	63	1	63	

種 別 管 轄 別 市 町 別 月 別		運 動 競 技			一 般 負 傷			加 害			自 損			急 病			そ の 他		
		出 場 件 数	不 搬 送 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	不 搬 送 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	不 搬 送 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	不 搬 送 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	不 搬 送 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	不 搬 送 数	搬 送 人 員
中 央 消 防 署	本 署	23		23	666	81	585	21	8	13	27	8	19	2,427	251	2,179	621	47	575
	西 分 署	9	1	8	206	18	188	3	2	1	7	2	5	724	88	636	140	5	135
	東 所				120	14	106	1	1		4	3	1	446	74	372	87	4	83
	南 所				112	11	101				2	1	1	413	46	367	74	6	68
	玖北第1				53		53				5	2	3	137	5	132	77	2	75
	玖北第2	2		2	47		48				3	1	2	141	8	133	56	4	52
計		34	1	33	1,204	124	1,081	25	11	14	48	17	31	4,288	472	3,819	1,055	68	988
岩 国 市	岩国地域	23		23	798	92	707	22	9	13	31	11	20	2,961	333	2,631	635	53	583
	由宇地域				67	9	58				2	1	1	266	24	242	76	2	74
	玖珂地域	7	1	6	77	5	72	1		1	3	1	2	322	41	281	101	4	97
	本郷地域				7		7				1		1	42	2	40	2	1	1
	周東地域	2		2	112	13	99	2	2		4	1	3	341	44	297	42	2	40
	錦 地域				30		30				4	1	3	93	5	88	75	1	74
	美川地域				23		23				2	1	1	42		42	1		1
	美和地域	2		2	36		36							90	5	85	57	4	53
岩国市小計		34	1	33	1,150	119	1,032	25	11	14	47	16	31	4,157	454	3,706	989	67	923
和 木 町					54	5	49							130	18	112	66	1	65
周 南 市																			
大 竹 市													1		1				
そ の 他											1	1							
合 計		34	1	33	1,204	124	1,081	25	11	14	48	17	31	4,288	472	3,819	1,055	68	988
1 月		1		1	98	8	90				4	1	3	388	59	329	88	4	84
2 月		2		2	100	11	89	3	2	1	2	1	1	315	45	270	63	1	62
3 月		1		1	92	15	77	2	2		5	3	2	319	40	279	112	8	104
4 月		3	1	2	110	7	103				2	1	1	299	31	268	90	3	87
5 月		3		3	92	6	86	3	1	2	6	2	4	367	27	342	73	7	66
6 月		3		3	88	15	73	1		1	6	3	3	349	25	324	85	11	74
7 月		2		2	89	12	77	5	4	1	5		5	446	51	395	97	3	95
8 月		7		7	100	9	92	1		1	2		2	402	46	356	85	4	81
9 月		1		1	85	11	74				8	3	5	317	30	288	87	5	82
10 月		5		5	126	10	116	2		2	3	1	2	338	25	313	91	9	82
11 月		4		4	92	6	86	1		1	2		2	364	44	320	87	4	83
12 月		2		2	132	14	118	7	2	5	3	2	1	384	49	335	97	9	88
計		34	1	33	1,204	124	1,081	25	11	14	48	17	31	4,288	472	3,819	1,055	68	988

### 3. 現場到着所要時間別出場件数

時間 種別	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均所要 時間(分)
急病	4,288	31	330	2,947	894	86	8.2
交通	409	4	53	258	78	16	8.3
一般負傷	1,204	11	83	806	265	39	8.8
その他	1,258	77	268	658	227	28	8.0
計	7,159	123	734	4,669	1,464	169	8.3

### 4. 病院収容所要時間別搬送人員

時間 種別	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均所要 時間(分)
急病	3,819	2	103	922	2,312	446	34	41.5
交通	359		6	73	221	54	5	46.0
一般負傷	1,081		24	197	675	173	12	44.7
その他	1,132		177	330	442	179	4	37.3
計	6,391	2	310	1,522	3,650	852	55	41.5

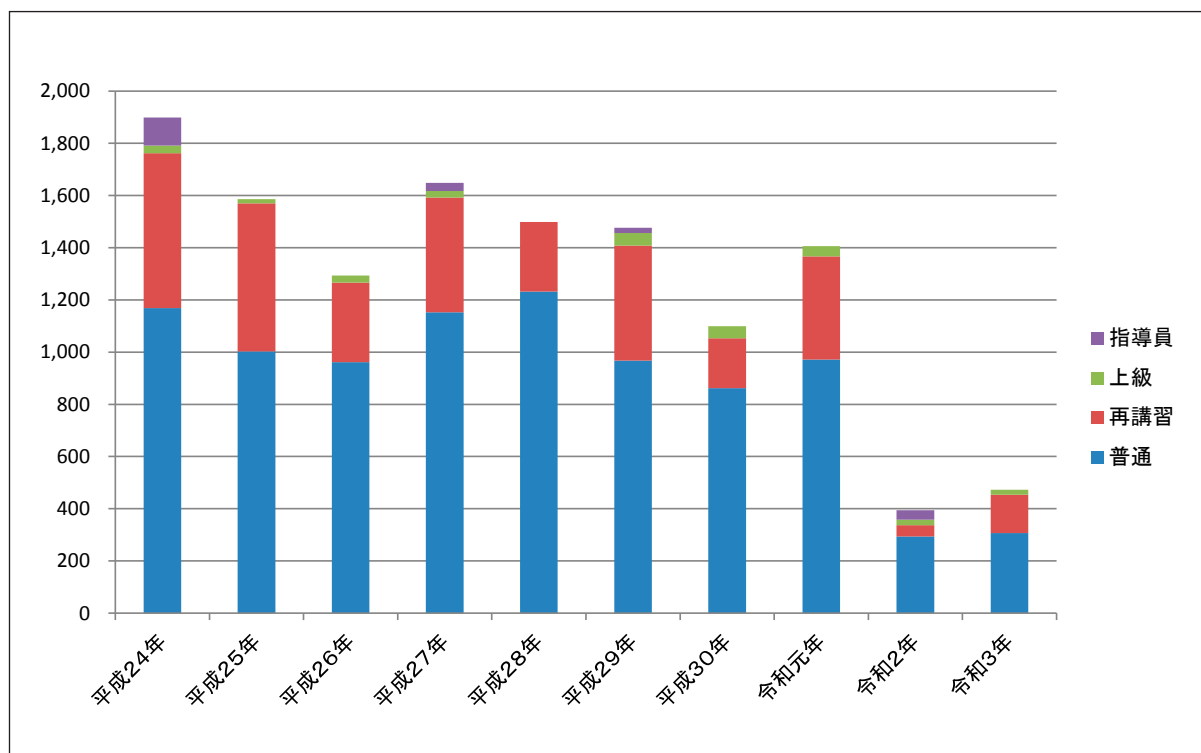
## 5. 応急手当普及啓発活動実施状況

事故などで心肺停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が速やかに心肺蘇生などの応急手当を行う必要があります。

心臓が止まってしまうような重大な事故は、いつ、どこで、何が原因で起こるか分かりません。

いざというときのために地域の皆さまが応急手当の知識と技術を身につけて勇気を持って実践できるよう、応急手当の普及啓発活動を積極的に実施しています。

区 分 年 別	普 通 救 命 講 習			上 級 救 命 講 習		指 導 員 講 習		計	
	回 数	人 員	再講習人員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
平成24年	85	1,169	593	1	29	2	108	88	1,899
平成25年	69	1,003	567	1	16			70	1,586
平成26年	55	962	304	1	27			56	1,293
平成27年	63	1,153	439	1	25	2	32	66	1,649
平成28年	56	1,232	267					56	1,499
平成29年	69	968	440	1	48	2	21	72	1,477
平成30年	59	862	191	1	46			60	1,099
令和元年	66	972	395	1	39			67	1,406
令和2年	24	294	43	1	21	2	36	27	394
令和3年	28	307	147	1	19			29	473





# VII 救 助



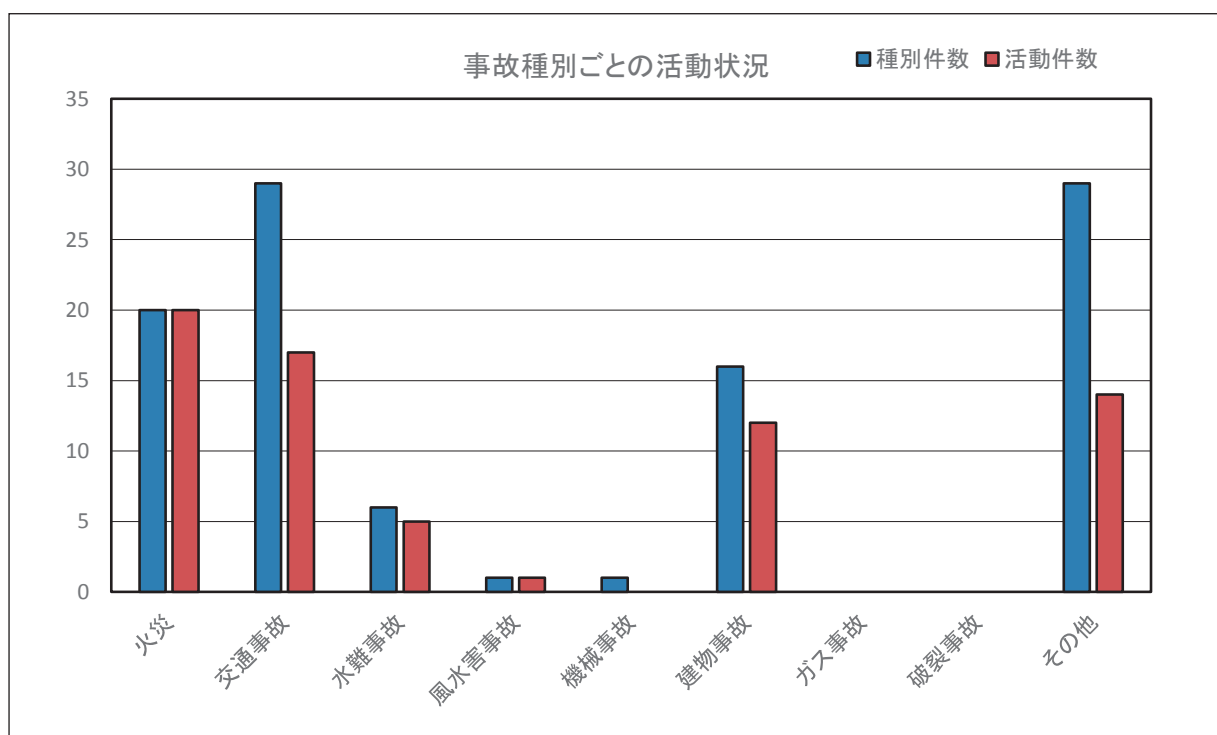
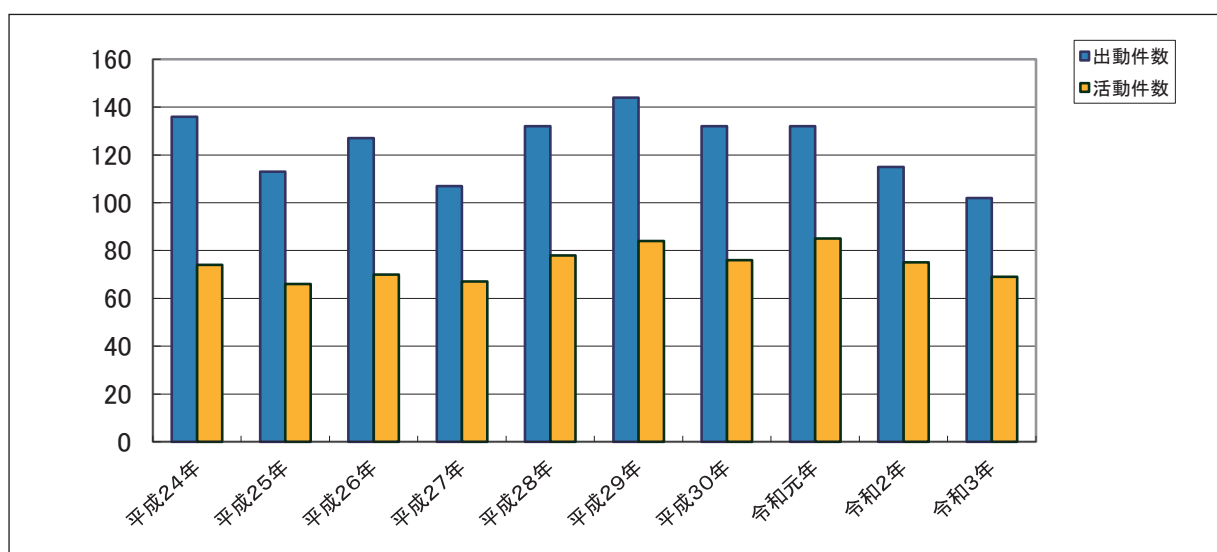
## 1. 救助概況

当消防本部は、専任救助隊1隊及び兼任救助隊2隊の計3隊を編成しているが、複雑多様化する社会事象を反映し、その活動は広範多岐に及んでいる。

令和3年中における救助出動は102件（前年比減少）で、このうち交通事故による出動が29件、火災による出動が20件であり、全体の約50%を占めている。

また、大規模災害への対応や都市型救助等、新しい資機材での救助活動を確立するため日々訓練を実施している。

過去10年間の救助出動・活動件数



## 2. 救助出動・活動状況

事故種別		建物火災		火建物以外 災の		交通 事故		水 難 事故		自然 災 害		機 械 事 故		酸 欠 事 故		建 物 事 故		破 裂 事 故		事 の 他 の 故		計	
		出 場	活 動	出 場	活 動	出 場	活 動	出 場	活 動	出 場	活 動	出 場	活 動	出 場	活 動	出 場	活 動	出 場	活 動	出 場	活 動	出 場	活 動
出 動 活 動 人 員	専任救助隊員	48	31	3		77	28	25	18	3	3	3			45	30			89	31	293	141	
	兼任救助隊員	32	29	4		41	21	15	12	3					20	11			46	32	161	105	
	消防隊員	193	152	9	3	145	47	36	27	6	6	6			25	15			158	44	578	294	
	救急隊員	55	40	3		120	63	24	15	3	3	3			49	37			94	42	351	200	
	消防団員	277						6	6										7		290	6	
	計	605	252	19	3	383	159	106	78	15	12	12			139	93			394	149	1673	746	
出 動 活 動 車 両	救助工作車	15	10	1		28	10	6	5	1	1	1			15	10			28	11	95	47	
	消防ポンプ車	48	41	3	1	31	13	8	6	2	1	1			6	3			37	14	136	79	
	梯子車	1	1																			1	1
	化学車	2	2																			2	2
	指揮・指令車	20	13	1		29	9	8	6	1	1	1			9	5			29	10	98	44	
	救急車	18	13	1		40	21	8	5	1	1	1			16	11			31	14	116	65	
	ヘリコプター																						
	その他の	3						6	4											1		10	4
消防団車両	35						1	1											1		37	1	
	計	142	80	6	1	128	53	37	27	5	4	4			46	29			127	49	495	243	
発 生 場 所 別 状 況	住居	7	7							1	1				16	12			7	2	31	22	
	その他の屋内	11	11																1		12	11	
	高速自動車道					2	1												1		3	1	
	その他の道路					18	11												3		21	11	
	内水面					1	1	5	5										1		7	6	
	外水面							1														1	
	山岳																						
	その他の屋外	1	1	1	1	7	3					1							15	11	25	16	
地下																							
その他					1	1													1	1	2	2	
	計	19	19	1	1	29	17	6	5	1	1	1			16	12			29	14	102	69	
他 機 関 活 動 状 況	警察車両																						
	海上保安庁																						
	日本赤十字																						
	自衛隊																						
	水防団																						
	電力会社																						
	他の公的機関								6													6	
事業主体																							
民間																							
	計							6														6	
搬 送 車 両	救急車		1			15		2							6				10		34		
	ヘリコプター																						
	他の消防車両																						
	消防機関以外																						
	計		1			15		2							6				10		34		

### 3. 管轄別・市町別救助出動状況

事故種別 管轄別 市町別	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員 数	火災事故			交通事故			水難事故			風水害等 自然災害			機械によ る事故			建物事故			ガス及び 酸欠事故			破裂事故			その他 事故		
				建物火災		建物以外	出動		活動		救助		出動		活動		救助		出動		活動		救助		出動		活動		救助	
				出動 件数	活動 件数	救助 人員 数	出動 件数	活動 件数	救助 人員 数	出動 件数	活動 件数	救助 人員 数	出動 件数	活動 件数	救助 人員 数	出動 件数	活動 件数	救助 人員 数	出動 件数	活動 件数	救助 人員 数	出動 件数	活動 件数	救助 人員 数	出動 件数	活動 件数	救助 人員 数	出動 件数	活動 件数	救助 人員 数
中央消防署	本署	54	38	31	10	10	2			12	5	5	2	2	4	1	1	1		14	11	11					15	9	8	
	西分署	19	14	6	5	5		1	1	5	4	4	1	1	1												7	3	1	
	東所	4	2	2						2	2	2					1										1			
	南所	15	9	8	3	3	1			6	4	5	1							2	1	1					3	1	1	
	玖1所	5	2	2						1			1	1	1													3	1	1
	玖2所	5	4	3	1	1				3	2	2	1	1	1															
合計	102	69	52	19	19	3	1	1	29	17	18	6	5	7	1	1	1	1	16	12	12					29	14	11		
岩国地域	岩国地域	61	42	34	11	11	2			13	7	7	3	2	4	1	1	1		16	12	12					17	9	8	
	由宇地域	9	6	6	2	2	1			5	3	4															2	1	1	
	玖珂地域	8	6	3	2	2				3	3	3															3	1		
	本郷地域	1	1	1						1	1	1																		
	周東地域	11	8	3	3	3	1	1		2	1	1	1	1	1												4	2	1	
	錦地域	4	1	1						1			1	1	1													2		
	美川地域	1	1	1																								1	1	1
	美和地域	3	2	1	1	1				2	1	1																		
岩国市小計	98	67	50	19	19	3	1	1	27	16	17	5	4	6	1	1	1		16	12	12					29	14	11		
和木町	2	1	1						1	1	1					1														
大竹市	2	1	1						1			1	1	1																
周南市																														
その他																														
合計	102	69	52	19	19	3	1	1	29	17	18	6	5	7	1	1	1	1	16	12	12					29	14	11		



# VIII 予 防



## 1. 防火対象物の現況（その1 市町別）

用途別		市町別		計	
		岩 国 市	和 木 町		
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	6		6
	ロ	公会堂・集会場	85	6	91
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等	2		2
	ロ	遊技場・ダンスホール	8		8
	ハ	性風俗営業店舗等			
	ニ	カラオケ・ビデオ個室等	2		2
3	イ	待合・料理店等	3		3
	ロ	飲食店	239	3	242
4		百貨店・マーケット等	164	3	167
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	63		63
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,257	59	1,316
6	イ	病院・診療所・助産所	76	4	80
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	75	1	76
	ハ	老人デイサービスセンター等	110	2	112
	ニ	幼稚園・特別支援学校	35		35
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	194	4	198
8		図書館・博物館・美術館	9	1	10
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場	3		3
10		停車場・発着場	6	2	8
11		神社・寺院・教会等	39	2	41
12	イ	工場・作業場	648	63	711
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場	54	4	58
	ロ	飛行機・航空機格納庫			
14		倉庫	535	24	559
15		前各項に該当しない事業所	565	49	614
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	343	8	351
	ロ	イ以外の複合防火対象物	260	4	264
17		重要文化財等	18	1	19
18		延長50メートル以上のアーケード	3		3
		計	4,802	240	5,042

## 1. 防火対象物の現況（その2 署所別）

用 途 別			署 所 別		中 央 消 防 署						計
			本署	西分署	東所	南所	玖1所	玖2所			
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	5					1			6
	ロ	公会堂・集会場	30	15	15	10		6	15		91
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等	2								2
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	1	2						8
	ハ	性風俗営業店舗等									
	ニ	カラオケ・ビデオ個室等	2								2
3	イ	待合・料理店等	2							1	3
	ロ	飲食店	145	46	14	18		8	11		242
4		百貨店・マーケット等	102	30	15	14		3	3		167
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	28	17	4	3		10	1		63
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	828	128	258	83		8	11		1,316
6	イ	病院・診療所・助産所	52	15	4	6		1	2		80
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	25	24	4	14		4	5		76
	ハ	老人デイサービスセンター等	52	27	11	11		3	8		112
	ニ	幼稚園・特別支援学校	27	3	3	2					35
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	92	36	17	18		19	16		198
8		図書館・博物館・美術館	6	1	1	1			1		10
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等									
	ロ	イ以外の公衆浴場	1		1			1			3
10		停車場・発着場	5		3						8
11		神社・寺院・教会等	22	10	5	4					41
12	イ	工場・作業場	351	117	153	54		12	24		711
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
13	イ	自動車車庫・駐車場	30	6	10	2		6	4		58
	ロ	飛行機・航空機格納庫									
14		倉庫	213	124	117	72		17	16		559
15		前各項に該当しない事業所	285	111	106	48		41	23		614
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	259	29	30	21		6	6		351
	ロ	イ以外の複合防火対象物	166	30	45	14		5	4		264
17		重要文化財等	19								19
18		延長50メートル以上のアーケード	3								3
計			2,757	770	818	395		151	151		5,042

## 2. 中高層建築物

用途別		階 別	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	計
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	2									2
	ロ	公会堂・集会場	2	2								4
2	イ	キャバレー・カフェナイトクラブ等										
	ロ	遊技場・ダンスホール										
	ハ	性風俗営業店舗等										
	ニ	カラオケ・ビデオ個室等	1		1							2
3	イ	待合・料理店等	2									2
	ロ	飲食店	9	5	6	1	1					22
4		百貨店・マーケット等	4	3								7
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	13	6	1		1		2	3	3	29
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	223	78	95	16	7	8	3	10	29	469
6	イ	病院・診療所・助産所	12	7	4	1					1	25
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	14	5	1	1						21
	ハ	老人デイサービスセンター等	8	3								11
	ニ	幼稚園・特別支援学校	6									6
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	70	8	1			1				80
8		図書館・博物館・美術館	3	2								5
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等										
	ロ	イ以外の公衆浴場										
10		停車場・発着場										
11		神社・寺院・教会等	3			1						4
12	イ	工場・作業場	63	30	7	1	1		2		2	106
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ										
13	イ	自動車車庫・駐車場	2		1	3						6
	ロ	飛行機・航空機格納庫										
14		倉庫	12	3		3	1					19
15		前各項に該当しない事業所	83	32	18	9	2	1	1			146
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	87	42	13	10	4	4	1	1		162
	ロ	イ以外の複合防火対象物	86	38	8	5	6	1	3		2	149
17		重要文化財等	1									1
18		延長50メートル以上のアーケード										
計			706	264	156	51	23	15	12	14	37	1,278

### 3. 防火管理者選任状況

用 途 別			署 所 別 対象物	中 央 消 防 署						計
				本署	西分署	東所	南所	玖1所	玖2所	
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	2	1				1		2
	ロ	公会堂・集会場	87	28	15	16	9	6	13	87
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等	2	2						2
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	5	1	1				7
	ハ	性風俗営業店舗等								
	ニ	カラオケ・ビデオ個室等	2	2						2
3	イ	待合・料理店等	3	2					1	3
	ロ	飲食店	84	64	7	6	4	2	1	84
4		百貨店・マーケット等	118	75	20	8	10	1	2	116
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	33	20	6	4	1	4	1	36
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	94	68	4	22	7			101
6	イ	病院・診療所・助産所	28	20	5		2	1	1	29
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	65	24	19	3	12	3	4	65
	ハ	老人デイサービスセンター等	59	33	11	5	9	1	2	61
	ニ	幼稚園・特別支援学校	19	13	3	2	1			19
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	54	23	10	7	7	3	7	57
8		図書館・博物館・美術館	7	3	1	1	1		1	7
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等								
	ロ	イ以外の公衆浴場	3	1				1		2
10		停車場・発着場	1	1						1
11		神社・寺院・教会等	23	9	5	5	2			21
12	イ	工場・作業場	32	10	11	7	8			36
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場								
	ロ	飛行機・航空機格納庫								
14		倉庫								
15		前各項に該当しない事業所	97	50	18	13	10	7	11	109
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	230	200	17	20	11	6	4	258
	ロ	イ以外の複合防火対象物	23	31	2	6	1	1		41
17		重要文化財等	2	3						3
18		延長50メートル以上のアーケード								
計			1,076	688	155	126	95	37	48	1,149

#### 4. 防火対象物査察実施状況

用途別		所属別	中央消防署					計	
			本署	西分署	東所	南所	玖1所		玖2所
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	3						3
	ロ	公会堂・集会場	23	11	12	5	5	8	64
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等	2						2
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	1	2				8
	ハ	性風俗営業店舗等							
	ニ	カラオケ・ビデオ個室等	2						2
3	イ	待合・料理店等	2					1	3
	ロ	飲食店	61	4	5	2	4	1	77
4		百貨店・マーケット等	71	16	10	8	3	2	110
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	20	15	4	1	5		45
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	106	11	32	6	1		156
6	イ	病院・診療所・助産所	29	11	3	6	1	1	51
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	21	23	3	9	3	5	64
	ハ	老人デイサービスセンター等	38	21	10	10	3	6	88
	ニ	幼稚園・特別支援学校	26	3	3	1			33
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	50	14	10	15	12	4	105
8		図書館・博物館・美術館	3	1		1			5
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等							
	ロ	イ以外の公衆浴場							
10		停車場・発着場	1		1				2
11		神社・寺院・教会等	4	1	2	2			9
12	イ	工場・作業場	71	38	51	13	6	4	183
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場	4		4	2	1	1	12
	ロ	飛行機・航空機格納庫							
14		倉庫	46	53	41	18	3	6	167
15		前各項に該当しない事業所	91	18	46	15	7	5	182
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	174	18	16	12	5	4	229
	ロ	イ以外の複合防火対象物	39	6	9	5	3		62
17		重要文化財等	17						17
18		延長50メートル以上のアーケード							
計			909	265	264	131	62	48	1,679

5. 用途別消防用設備等受付事務処理状況

用途別	設備等	屋内消火栓	パッケージ型消火設備	スプリンクラー設備	パッケージ型自動消火設備	水噴霧消火設備	泡消火設備	不活性ガス消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常警報設備	避難器具	誘導灯	排煙設備	連結送水管	非常コンセント	消防用水	計	
		1	イ											1				1					
	ロ												4				1						5
2	イ																						
	ロ											1										1	
	ハニ																						
3	イ																						
	ロ												6		1		4					11	
4			1	1									9		7		13					31	
5	イ												1				1					2	
	ロ	1	1					1					6			2	1					12	
6	イ																1					1	
	ロ				3								8		1		3					15	
	ハ		2										7				5					14	
	ニ		1										4									5	
7												11										11	
8																							
9	イ																						
	ロ																						
10												1										1	
11												1			1	1						3	
12	イ	3	3	1							1	1	45				10					64	
	ロ																						
13	イ												2							1		3	
	ロ																						
14		7		3							4	20					4					38	
15		1							1		2	19			1	9						33	
16	イ												18	2	1	8			1			30	
	ロ						1			1		7	1			3						13	
17												2										2	
18																							
計		12	8	8			1	1	1	1	7	1	173		12	5	65		2			297	

## 6. 用途別建築確認申請同意状況

用途別			区 分		確 認		許 可		計 画		計		
			岩国市	和木町	岩国市	和木町	岩国市	和木町	岩国市	和木町	合計		
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場											
	ロ	公会堂・集会場											
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等											
	ロ	遊技場・ダンスホール											
	ハ	性風俗営業店舗等											
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等											
3	イ	待合・料理店等											
	ロ	飲食店	1					1		2			2
4		百貨店・マーケット等	3							3			3
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所											
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	9							9			9
6	イ	病院・診療所・助産所	7							7			7
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等											
	ハ	老人デイサービスセンター等	5							5			5
	ニ	幼稚園・特別支援学校											
7		小学校・中学校 高等学校・大学等						1		1			1
8		図書館・博物館・美術館											
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等											
	ロ	イ以外の公衆浴場											
10		停車場・発着場	1							1			1
11		神社・寺院・教会等	1							1			1
12	イ	工場・作業場	10	2	1					11	2		13
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ											
13	イ	自動車車庫・駐車場											
	ロ	飛行機・航空機格納庫											
14		倉庫	7	1				1		8	1		9
15		全各項に該当しない事業所	14					2		16			16
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	4	1				2		6	1		7
	ロ	イ以外の複合防火対象物	10					2		12			12
17		重要文化財等											
18		延長50メートル以上のアーケード											
住 宅			115	1	16	1		3		134	2		136
工 作 物													
そ の 他			11					1		12			12
計			198	5	17	1		13		228	6		234

## 7. 工事種別建築確認申請同意状況

市 町 別	工事種別	建築確認申請				計
		新 築	増 築	改 築	そ の 他	
岩 国 市		191		33		228
和 木 町		1		5		6
計		192		38		234

## 8. 火災予防条例等に基づく届出状況

届 出 区 分	所 属 別	中 央 署						計	
		消防本部	中央署	西分署	東出張所	南出張所	玖1所		玖2所
消防用設備等着工届		145						145	
消防用設備等設置届		270						270	
防火対象物使用開始届		162	4	3				169	
炉・ボイラー・乾燥設備等設置届			4	3	2	2		13	
燃料電池・発電・変電・蓄電池設備設置届		1	30	16	13	20	5	93	
ネオン管灯設備設置届									
水素ガスを充てんする気球の設置届									
火災とまぎらわしい行為届			33	16	23	9	4	13	98
煙火打上げ仕掛け届			15	8	1	1	2	1	28
催物開催届			1			1			2
水道断水・減水届			2	5	1	1			9
道路工事届			121	90	25	64	34	39	373
指定洞道等届									
少量危険物貯蔵取扱い届		1	40	6	11	16	4		78
指定可燃物貯蔵取扱い届		15	28	3	3	5			54
核物質等貯蔵取扱い届			2		13				15
劇場等における火気使用願		6							6
指定催しの指定通知書									
火災予防上必要な業務に関する計画提出書									
露店等の開設届			16			1			17
圧縮アセチレンガス等届		3	17	6	2	1	2		31
液化石油ガス設備設置届		3							3
計		606	313	156	94	121	51	63	1,404

## 9. 火薬類取締法関係処理状況

区 分	許 可						立 入 検 査 等			
	製 造 許 可	販 売 営 業 許 可	譲 渡 許 可	譲 受 許 可	譲 受 ・ 消 費 許 可	消 費 許 可 ( 煙 火 )	火 薬 庫	火 薬 類 販 売 所	火 薬 庫 外 貯 蔵 所	消 費 場 所
岩 国 市		1	1		5	4	6	2	2	6
和 木 町										
合 計		1	1		5	4	6	2	2	6

### 10. 危険物事務処理状況

区分	許可申請		完成検査申請		タンク検査申請						仮使用承認	仮貯蔵仮取扱承認	予防規程認可	軽微変更届	移動タンク貯蔵所転入	移動タンク貯蔵所転出	廃止届	名称変更・譲渡引渡届	品名数量変更届	保安監督者選解任届	合計
	設置	変更	設置	変更	水張	水圧	溶接部	保安検査	基礎地盤												
合計	5	176	5	141	15	1		1			126	49	11	271	1		21	30	16	42	911
岩国市	5	101	5	83	5	1				80	6	11	215	1			19	28	13	38	611
和木町		75		58	10			1		46	43		56				2	2	3	4	300

### 11. 危険物施設数及び立入検査実施状況

製造所等の別	合計		貯蔵						取扱						合計
	製造所	小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵書	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	
合計	29	929	57	409	6	84	2	113	21	208	78	3		10	117
岩国市	15	647	51	189	6	80	2	113	16	175	76	3		3	93
和木町	14	282	6	220		4			5	33	2			7	24
検査実施数	8	243	7	45	2	39		76	2	64	22			4	38

## 12. 危険物施設事業所数

区分 市町別	事業所数	事業所	事業所	事業所	事業所
		管理者を要する 危険物保安統括所	保安員を要する 危険物施設	を要する事業所 予防規程の作成所	する事業所 衛防災組織を要 石災法により自
岩 国 市	197		6	65	4
和 木 町	6	2	2	2	2
合 計	203	2	8	67	6

## 13. 屋外タンク貯蔵所容量別数

容量別	100KL未満	100KL以上 500KL未満	500KL以上 1,000KL未満	1,000KL以上 10,000KL未満	10,000KL以上 50,000KL未満	50,000KL以上 100,000KL未満	合 計
基 数	88	119	61	86	51	4	409

14. 危険物施設倍数別状況

製造所等の別 倍数別	合計	貯蔵所									取扱所				
		小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計	929	692	57	409	6	84	2	113	21	208	78	3		10	117
5倍以下	185	141	20	13	5	50	2	48	3	40	4				36
5倍を超え 10倍以下	91	61	14	12		18		8	9	30	9	1			20
10倍を超え 50倍以下	163	116	11	64	1	14		20	6	43	20	2			21
50倍を超え 100倍以下	94	75	3	48		1		20	3	17	9				8
100倍を超え 150倍以下	48	40	1	21		1		17		7	4				3
150倍を超え 200倍以下	32	16	2	14						15	11				4
200倍を超え 1,000倍以下	131	85	3	82						40	21			3	16
1,000倍を超え 5,000倍以下	76	66	3	63						6				2	4
5,000倍を超え 10,000倍以下	42	38		38						2					2
10,000倍を超え その他	67	54		54						8				5	3

15. 危険物取扱者試験の実施状況

年 度	種 別	甲 種	乙 種						丙 種	合 計	合 格 率 %
			1 類	2 類	3 類	4 類	5 類	6 類			
令和2年度	前期	受 験 者									
		合 格 者									
	後期	受 験 者	59	17	40	27	435	27	30	14	649
		合 格 者	27	11	19	25	154	10	21	10	277
令和3年度	前期	受 験 者	36	38	33	27	483	31	49	8	705
		合 格 者	19	24	26	18	143	20	31	3	284
	後期	受 験 者	23	63	35	29	331	33	66	4	584
		合 格 者	5	32	25	24	93	28	42	3	252

16. 化学消火剤備蓄状況（単位ℓ）

岩国地区消防組合	メガフォーム 6% (F-610AT)	2,600
	メガフォーム 6% (AGF-T)	3,600
	メガフォーム 3% (AGF-3T)	6,800
	合 計	13,000
岩国地区化学消火剤 共同備蓄会	メガフォーム 6% (F-610AT)	4,200
	メガフォーム 6% (AGF-T)	5,240
	メガフォーム 3% (AGF-3T)	620
	合 計	10,060
総 合 計		23,060

## 17. 広報活動等の実施状況

区 分	所属別	消防本部 (予防課・警防課)		中央消防署		計	
		回数	対象人員	回数	対象人員	回数	対象人員
避 難 訓 練				1	256	1	256
消 火 訓 練				2	275	2	275
消 防 訓 練		1	400	304	15,684	305	16,084
ク ラ ブ 等 の 指 導		2	213			2	213
防 火 映 画		18	1,125	9	594	27	1,719
防 火 講 習 会				8	266	8	266
街 頭 広 報		1		292		293	
チ ラ シ 配 布		2	450			2	450
防 災 行 政 無 線 広 報 誌 等 広 報		77		18		95	
HP・メ ー ル ア プ リ 等		134				134	
防 火 管 理 講 習 会 ( 再 講 習 含 む )	甲	5	196			5	196
	乙	4	32			4	32
危 険 物 取 扱 者 保 安 講 習		15	629			15	629
一 般 家 庭 防 火 訪 問		124	124			124	124
火 気 取 扱 い 指 導							
そ の 他				281	3,025	281	3,025

## 18. 幼年・少年消防クラブの現況

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数	諸 活 動 回 数						
			防 火 講 習	防 火 映 画	署 内 見 学	訓 練 実 習	出 初 式	防 火 パ レ ード 等	そ の 他
愛宕地区少年消防クラブ	S55. 8. 7	休止中							
あさひ保育園幼年消防クラブ	S58.10.20	32				11		1	9
玖珂中央幼稚園幼年消防クラブ	S62. 3.27	77				11		3	10
さかうえこども園幼年消防クラブ	S62. 6.24	25				12		1	3
岩国南幼稚園幼年消防クラブ	S63.11.12	145			1	10			5
岩国中央幼稚園幼年消防クラブ	H14. 3.12	80				6			5
和木こども園幼年消防クラブ	H14.10.15	122				13		1	
ひろせ保育園幼年消防クラブ	H15.10. 1	7							4
由宇保育園幼年消防クラブ	H16. 9. 1	18				12		2	7
周東幼稚園幼年消防クラブ	H17.11. 2	9				3		3	7
たかもり本陣保育園幼年消防クラブ	R1.10.18	42							4
川西保育園幼年消防クラブ	R2.10.31	55				12			14

## 19. 婦人消防隊の現況

消 防 隊 の 名 称	結 成 年 月 日	隊 員 数	資 機 材			操 法 訓 練	出 初 式	隊 員 研 修	そ の 他
			ポ 小 型 動 力	ホ ー ス	筒 先				
柱 島 婦 人 消 防 隊	S56. 4. 1	4	1	5	1				2
阿 品 婦 人 消 防 隊	H 1.12. 1	10	1	5	1				2

# IX 消 防 団



1. 消防団の人員と主要装備

人員等	人員		階級							消防車両等				連絡用器具						
	定員	実員	団長	副団長	(方面隊長格) (副方面隊長格)	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消防ポンプ自動車	積小動力ポンプ付車	小型動力ポンプ	その他の車両	車載用無線機	携帯用無線機	簡易無線機	トランシーバー	無線受令機	
市町																				
合計	1,770	1,493	2	6	9	20	55	62	145	275	919	108	59	13	16	14	305	492	135	
岩国市	1,685	1,433	1	5	9	20	52	59	139	264	884	35	106	11	12	5	305	480	135	
団本部		14	1	5			3	1	1	1	2			8	2	5		6	1	
岩国東方面隊		255			1	3	6	6	33	66	140	7	21		2		58	90	24	
岩国西方面隊		305			1	3	7	7	37	69	181	9	21		1		61	93	29	
由宇方面隊		102			1	2	5	9	10	21	54	4	6	2	1	1	23	36	10	
玖珂方面隊		85			1	2	8	8		8	58	2	7	4	1		19	30	8	
本郷方面隊		60			1	2	6	6	6	7	32	1	5		1		13	21	5	
周東方面隊		232			1	2	5	5	16	44	159	3	19	1	1		49	75	23	
錦方面隊		150			1	2	3	3	15	14	112	5	8	5	1		31	48	14	
美川方面隊		63			1	2	2	2	9	10	37	2	8		1		24	39	9	
美和方面隊		167			1	2	7	12	12	24	109	2	11	2	1		27	42	12	
和本町	85	60	1	1			3	3	6	11	35	3	2	7	4	9		12		

## 2. 消防団活動状況

市 町		区 分	火 災		水 防		訓練・その他		合 計	
			出 動 回 数	出 動 人 員	出 動 回 数	出 動 人 員	出 動 回 数	出 動 人 員	出 動 回 数	出 動 人 員
岩 国 市	団 本 部		16	60	4	7	34	119	54	186
	岩国東方面隊	麻里布・川下・愛宕・ 灘・柱島・通津分団	7	147	3	42	108	1,548	118	1,737
	岩国西方面隊	岩国・小瀬・藤河・御庄・ 北河内・南河内・師木野分団	4	141	3	30	112	1,477	119	1,648
	由宇方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 5 分 団	1	57			17	320	18	377
	玖珂方面隊	本 部 、 中 央 第 1 ～ 5 分 団 さ く ら 分 団	1	1	2	34	33	350	36	385
	本郷方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 6 分 団					18	112	18	112
	周東方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 5 分 団	2	47	3	29	33	571	38	647
	錦 方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 3 分 団			1	63	32	445	33	508
	美川方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 3 分 団					16	175	16	175
	美和方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 6 分 団	1	20			19	289	20	309
		小 計	32	473	16	205	422	5,406	470	6,084
和木町	本 部 及 び 第 1 ～ 3 分 団					23	330	23	330	
計	合 計	32	473	16	205	445	5,736	493	6,414	

### 3. 消防団員の年齢構成

区 分		計	20 歳 未 満	20 ～ 25 歳 未 満	25 ～ 30 歳 未 満	30 ～ 35 歳 未 満	35 ～ 40 歳 未 満	40 ～ 45 歳 未 満	45 ～ 50 歳 未 満	50 ～ 55 歳 未 満	55 歳 以 上	平 均 年 齢
市	町											
岩 国 市	団 本 部	14					1	1	1		11	60.1
	岩国東方面隊	255		3	5	14	21	33	54	29	96	49.7
	岩国西方面隊	305		2	6	9	19	39	47	61	122	51.7
	由宇方面隊	102		4	4	9	13	15	18	8	31	46.3
	玖珂方面隊	85	1	3		1	13	11	14	13	29	48.9
	本郷方面隊	60		1	1	1	4	3	6	9	35	54.5
	周東方面隊	232	1	10	8	12	12	35	57	40	57	47.1
	錦 方面隊	150			1	7	9	19	26	17	71	53.0
	美川方面隊	63				1		9	8	13	32	54.9
	美和方面隊	167		4	8	11	13	21	35	26	49	47.5
和 木 町	60		1	4	5	5	8	14	13	10	46.4	

### 4. 消防団員の在職年数

区 分		計	1 年 未 満	1 ～ 5 年 未 満	5 ～ 10 年 未 満	10 ～ 15 年 未 満	15 ～ 20 年 未 満	20 ～ 25 年 未 満	25 ～ 30 年 未 満	30 年 以 上	平 均 年 数
市	町										
岩 国 市	団 本 部	14			3	1		2	3	5	23.8
	岩国東方面隊	255	4	31	53	41	28	40	26	32	15.7
	岩国西方面隊	305	3	43	49	36	44	68	32	30	16.5
	由宇方面隊	102	2	13	17	20	14	12	6	18	16.5
	玖珂方面隊	85	4	14	12	10	8	16	11	10	16.3
	本郷方面隊	60		4	9	12	3	10	8	14	20.0
	周東方面隊	232	6	40	39	32	26	36	25	28	15.7
	錦 方面隊	150	2	9	17	30	20	15	28	29	19.9
	美川方面隊	63		1	2	15	5	9	9	22	24.7
	美和方面隊	167	4	28	24	14	24	26	24	23	17.0
和 木 町	60	1	10	9	17	10	6	4	3	12.9	

## 5. 消防団員年額報酬

岩 国 市

(単位 円)

団 長	副団長 (方面隊長)	方面副隊長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
78,000	64,500	55,000	46,000	41,000	33,500	32,500	31,500

和 木 町

(単位 円)

団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
86,400	72,000	62,400	57,600	54,000	37,500	36,500

## 6. 消防団員費用弁償

(単位 円)

種 別 市町村	火 災	警 戒	訓 練	水 防	そ の 他
岩 国 市	6,800	6,800	4,300	6,800	4,300
和 木 町	7,000	6,300	3,600	7,000	2,500

令和4年3月 発行

編 集 岩国地区消防組合  
消 防 本 部 総 務 課

〒740-0037 岩国市愛宕町一丁目4番1号  
TEL (0827) 31-0193  
FAX (0827) 32-2119  
E-mail ifd119@joy.ocn.ne.jp  
URL <http://www.iwakuni-fd.or.jp/>

